

・景気の現状に対する判断理由等

景気の現状に対する判断の理由及びそれに対する追加説明等について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	スーパー（企画 担当） コンビニ（店 長） 一般レストラン （スタッフ） 観光型ホテル （スタッフ） 美容室（経営 者）	お客様の様子 来客数の動き 来客数の動き 販売量の動き 販売量の動き	・客の購買状況が良くなっている。競合店も比較的良い状況らしく、全体的に良い雰囲気になっている。 ・サッカーワールドカップのイングランド対アルゼンチン戦開催で、イギリス人が大量に買物をしてくれた。 ・6月の前半はサッカーワールドカップ札幌開催の影響で来客数が減少したが、10日以降は来客数、売上ともに好調に推移している。 ・単価は横ばいだが、宿泊客数は増加に転じている。 ・カット等のサービス、店販品ともに売上が前年を上回る勢いで推移している。
	変わらない	商店街（代表 者） 商店街（代表 者） 商店街（代表 者） 百貨店（売場主 任） スーパー（店 長） スーパー（店 長） スーパー（店 長） 家電量販店（店 員） 住関連専門店 （営業担当） その他専門店 〔医薬品〕（経 営者） 高級レストラン （スタッフ） 高級レストラン （スタッフ） 一般レストラン （スタッフ） 観光型ホテル （経営者） 観光名所（役 員） 美容室（経営 者） 美容室（経営 者）	お客様の様子 来客数の動き 来客数の動き お客様の様子 単価の動き 単価の動き 単価の動き お客様の様子 単価の動き 単価の動き 来客数の動き 販売量の動き 来客数の動き 来客数の動き 来客数の動き 来客数の動き 来客数の動き 単価の動き	・客の必要最小限しか購入しない傾向や低単価志向に変化がない。また、サッカーワールドカップをテレビ観戦しているためか、夜の繁華街の人出が大幅に減少している。 ・サッカーワールドカップが開催され、テレビ観戦者が多いためか、街の人出が非常に少ない。 ・サッカーワールドカップや天候不順の影響で今月の前半は、かなり来客数が減少したが、後半は盛り返している。ただし、このままバーゲンシーズンとなり単価が低下しているため、全体的にみると変化はない。 ・例年は7月にスタートする夏の売り尽くしセール時期が早まり、今年は6月中旬から行っているが、客の反応が芳しくなく、客からは7月に入れば値下げになるのではという質問も多い。 ・一点単価、客単価ともに低下したままである。 ・衣料品は半額品等のセール商材が中心に動くなど、低単価傾向が続いており、売上の確保が厳しい状況である。 ・来客数は増加しているが、単価が低下しており、売上に変化がない。 ・サッカーワールドカップの影響でテレビの売上が好調である。ただし、高額品を購入する客と低額品を購入する客に分かれる現象がみられている。 ・目玉品を中心に購買する客が多い等、低価格の傾向が続いている。 ・昨年購入した商品の残りを大事に使って節約しているようであり、夏場の商材の動きが鈍い。 ・サッカーワールドカップで旅行や外出を控えているためか、観光客、地元客ともに来客数が減少している。 ・サッカーワールドカップの注目試合がある日はディナー客が激減している。ただし、レストランウエディング関連が好調であり、全体では売上に変化がない。 ・サッカーワールドカップの影響で、来客数が伸びていない。 ・サッカーワールドカップの影響のためか、例年よりも来客数が減少しているが、これは当初から折り込み済みである。 ・本来ならばオンシーズン真っ盛りの時期であるが、天候不順もあり、道外客の動きが鈍い。 ・商店会で夏祭りの抽選会を開催しているが、来客数に変化がない。 ・衝動的に単価が高いサービスを求める客が少なく、客単価が依然として上昇していない。
	やや悪く なっている	商店街（代表 者）	販売量の動き	・給与やボーナスが減少しているため、支出を控えているという客の話聞く。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・ファッション関連は前倒し需要があるものの、サッカーワールドカップの影響で、来客数が大幅に減少している。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・これまで横ばいで推移していた来客数が減少に転じている。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・競争が厳しい地域において客単価の低下が目立つ。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・公共工事の減少で、工事関係者等の男性客が減少している。また、週末の売上も低迷している。
		衣料品専門店（店長）	単価の動き	・高額商品の動きが悪く、客単価が低下している。
		衣料品専門店（店員）	来客数の動き	・サッカーワールドカップのテレビ観戦で外出が少ないためか、予想以上に来客数が減少している。特に、注目試合の時間帯は、全く来店がないこともある。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・サッカーワールドカップをテレビ観戦しているためか、外出する人が少なく、来客数が減少している。また、サッカーワールドカップ観戦に伴う出費が多いためか観光客も減少している。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響により、期間中に旅行する客や申込をする客が大幅に減少している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・サッカーワールドカップをテレビ観戦している人が多いためか、利用客が減少している。特に日本戦のあった日は、夜間のススキノでも歩いている人が少なく、タクシーの利用客数が極端に減少した。また、札幌祭りやYOSAKOIソーラン祭りが開催されたが、悪天候の影響もあり、例年より人出が少なく、タクシーの利用客数が減少している。
	タクシー運転手	来客数の動き	・函館を訪れる観光客は増加しているようだが、バスやレンタカーの利用が多くタクシーの利用増につなげていない。また、サッカーワールドカップの影響で、夜間の街の人出が減少している。	
	悪くなっている	一般小売店〔土産〕（店員）	来客数の動き	・YOSAKOIソーラン祭りの来場者数の減少にみられるように、空港に関しても団体客を含め、来客数が例年よりも減少し、店の売上も減少している。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・これまで来客数が順調に推移してきたが、今月になって減少に転じている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・高単価の車種が全く売れず、低単価の車種についても客足が鈍くなっている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・観光客、地元客ともに来客数が減少している。これまで25年間仕事をしているが、これほど最悪な状態になったことはない。
		スナック（経営者）	お客様の様子	・客からの団体料金値下げの要望が強く、一人当たり単価が低下している。
旅行代理店（従業員）		来客数の動き	・来客数が極端に減少しており、電話も鳴らない。	
企業動向関連	良く なっている	-	-	-
		食料品製造業（経営者）	取引先の様子	・夏の中元商戦向けの商材で、高級料亭の商品、産地や品質にこだわった商品等、やや高めに価格設定している商品が増加している。
	やや良くなっている	家具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は低調だが、落ち込み幅が縮小している。
		通信業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・通信業界の価格低廉化の動きがみられるが、新規案件等の問い合わせが増加している。
		通信業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注量、受注額ともに増加している。
		その他企業〔コンベンション担当〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・消費単価は上昇していないが、受注件数が例年並みまで回復している。
		変わらない	食料品製造業（社員）	それ以外
	輸送業（支店長）		受注量や販売量の動き	・道内の物流の主要貨物である製紙が減産傾向である。
	金融業（企画担当）		それ以外	・取引先は借入金の返済を優先させており、新たな資金需要が乏しい。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他非製造業 [機械卸売] (従業員)	受注量や販売量の動き	・期待していた副資材の出荷量が増加しておらず、価格的にも厳しい状況が続いている。
	やや悪くなっている	食品製造業 (団体役員)	それ以外	・イカ製品の加工原料である外国産のイカの漁獲量が減少しており、原料価格が著しく高騰しているが、企業間の競争が激しく、製品価格への転化が困難な状況にある。また、違法な食品添加物等の問題により、消費者の不信感が増幅している中で、食品に関する規制制度に関する対応が遅れており、消費意欲の減退を招いている。
	悪くなっている	金属製品製造業 (統括)	受注量や販売量の動き	・住宅向けの商品の出荷量が減少している。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社(編集者)	求人数の動き	・先月から今月にかけて、臨時雇用を中心に求人数の下げ止まり感が強くなっている。
		求人情報誌製作会社(編集者)	求人数の動き	・求人数は前年の水準に回復しつつあり、特に小売業、個人向けサービス業で増加傾向が著しく、前年を上回る勢いで推移している。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	周辺企業の様子	・取引先の状況を見ると、土木・建設業では売上や利益の確保が困難な状況であり、流通業でも来客数や一人当たり購買額の低下傾向が続いており、雇用の余剰感に変化がみられない。
		求人情報誌製作会社(編集者)	求人数の動き	・求人数の増減が4～6%台で推移しており、3か月前と比較して大きな変化がみられない。
		新聞社[求人広告](担当者)	求人数の動き	・求人広告数の前年割れが続いており、雇用形態もパートや臨時雇用が多い。
	やや悪くなっている	新聞社[求人広告](担当者)	周辺企業の様子	・広告主の新規開拓が好調でない。また、従来から取引のある広告主の掲載量も減少している。
		職業安定所(職員)	求職者数の動き	・新規求職者申込件数が前年を上回っているが、月間有効求人数が前年を下回り、有効求人倍率が低下している。
悪くなっている	求人情報誌製作会社(編集者)	求人数の動き	・求人件数が減少しており、求人雑誌の販売部数も例年よりも少ない。	
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数の前年割れが続く中で、減少幅が拡大している。	

## 2. 東北(地域別調査機関:(財)東北開発研究センター)

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	百貨店(広報担当)	販売量の動き	・文化催事の動員増や、日曜日が昨年6月より1回多いという短期要因も考えられるが、単価は若干下落しているものの、来客数の微減に歯止めが掛かり、買上客数も増加し、売上高は予算も前年実績もクリアしている。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・農産物の相場と精肉が回復し、生鮮食料品全体の売上は前年より7%増になっている。食料雑貨などの価格下落分を生鮮食料品でカバーし、食品合計で5%の売上増と好調である。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・販売数量が前年実績を超えており、サッカーワールドカップの韓国ブームも影響してか、牛肉も前年並みまで回復している。
		スーパー(店長)	来客数の動き	・来客数が上向き、先月から今月にかけて売上も前年実績を上回っている。
		コンビニ(エリア担当)	単価の動き	・天候の影響を受け、週末に天気が良ければ、来客数が増え、客単価も回復する。
		衣料品専門店(店長)	来客数の動き	・顧客向けに企画したセールが好調で、量販店に動いた客が戻ってきている。
		衣料品専門店(総務担当)	販売量の動き	・サッカーワールドカップ開催により、売上点数が増加している。
		その他専門店[白衣・ユニフォーム](営業担当)	販売量の動き	・ユニフォームの更新をしないで我慢していた企業が多かったが、最近は限界まで近づき傷みがひどくなったためか、更新をする企業が増えている。
観光型ホテル(経営者)	来客数の動き	・団体客、特に関西からの1泊客が増えている。 ・館内消費も基本宿泊料金は多少低いが、芸者や二次会など付帯が多く、消費額が高くなっている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	変わらない	観光名所（職員）	来客数の動き	・先月が、天候に恵まれ気温も暖かかったため、さくらんぼの実りが早まり、さくらんぼ刈りの団体客が増えている。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・客との会話の中で、サッカーワールドカップ特需のためか、景気が良いという話が多い。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で、気分的に良くなっている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・当店はギフトショップであるが、母の日や父の日に、以前は2000～3000円の商品が中心であったが、最近では1000円以下で、贈り物をしない場合もある。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・気温が上がらず、特に夏物衣料の出足が鈍い状況であり、夏気分が低下している。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・例年新茶の時期は、通常より動きが良く、客単価も上昇しているが、今年は昨年同様ほとんど変化がない。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で、来客数は20%減少しているが、通常の売上については、特に影響がない。
		一般小売店〔カメラ〕（店長）	来客数の動き	・来客数が減少し、それに伴い販売額も低下している。大口客もいるので、それなりの実績は上げているが、細かい数字の積上げも重要である。
		一般小売店〔スポーツ用品〕（経営者）	それ以外	・サッカーワールドカップイヤーで、日本戦が仙台に来るなど盛り上がりが良い。
		百貨店（企画担当）	来客数の動き	・一週間の前半が良ければ、後半が伸びないなど、起伏が大きく来客数が安定しないが、駐車場待ちが無い日が増えている。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・衣料品関係の問屋の倒産が増えているが、販売動向そのものについては良い状況であり、前年実績を超えている。
		スーパー（経営者）	単価の動き	・3～4%の客単価の低下が続いている。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・量的には上向いているが、価格の低い商品に集中している。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・依然として堅実で慎重な購買行動は続いてはいるが、青果物を中心に単価が回復し、一時期の厳しい消費態度が先月末頃からやや明るさを見せており、商品の絶対量の動きが上昇している。
		スーパー（経営者）	それ以外	・来客数は回復しつつあるが、買上点数や一品単価は停滞している。
		スーパー（店員）	単価の動き	・客単価が前年より600円減少している状態が3か月続いている。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・生鮮食料品は買上点数が前月より0.8%増えているが、一品単価は前年より2.6%減少し、先月と同じである。 ・精肉の単価は多少戻りつつあるがマイナス7%である。 ・菓子の添加物問題で、買上点数が大きく減少し、調味料もその影響で2%減少している。 ・衣料品関係は、入梅により夏物の売行きが減少しているが全体では前月と変わらない。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・来客数は依然として前年実績を上回っているが、売上は2%程度減少しており、一品単価の低下により客単価が上昇しない。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・客単価が、前年に比べ15円程度低下している。 ・今月後半から低温で、売上に大きく影響を与えている。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・来客数は増加しているが、単価の低下が大きく、前年実績を割りこんでいる。
コンビニ（店長）	単価の動き	・単価は、3月から酒類を扱い始めたためわずかに上昇しているが、客は必要最小限の購買に抑えている状況である。		
コンビニ（店長）	単価の動き	・前年との比較では、単価は善戦しているが、来客数は悪い。数か月前では逆であったが、ここに来て客の貧富の差が拡大している。		
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・6月は衣替え時期であり、また偶数月は年金支給月であることから、良くなると期待していたが、天候不順で、常連客も来店せず、変わらず悪い。		
衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・冷夏予想で早々に値崩れし、数量の伸びも低い。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・売上は多少上昇しているが、4、5月が底だと考えれば、正常に戻っている。 ・来客数に変化はないが、客単価は低下している。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・下見客は多いが、購入に至らないという状況が続いている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車輛販売で好調なのは、お買い得設定をした特別仕様車だけであり、販売店にはメーカーほどのメリットがないのが実状である。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量は毎月減少しており、今月は前年の75%で、単価も低下している。 ・3年、5年の購入サイクルが、車検を受けて5年、8年と伸びている。
		住関連専門店（経営者）	お客様の様子	・前年より1週間早くにセールを実施しているが、良いものを少しでも安く買おうとするため、購買決定まで時間を要している。
		その他専門店〔呉服〕（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップ会場が車で10分程度の場所であるが、近所の人で実際に観戦したという人は聞いていないものの、来客数は少ない。
		その他専門店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・イベントを実施すると、来客数は一時的に増加するものの、終了すれば元の状態に戻る。客も慎重な購買行動に戻る。
		高級レストラン（支配人）	販売量の動き	・サッカーワールドカップの影響により、宿泊は前年より20%の伸びと好調であるが、結婚披露宴が減少し、宴会は前年実績を下回っている。 ・レストランではカジュアルレストランは好調であるが、高級レストランは法人需要の回復がなく、予約は個人客が主体であり、小人数、低単価で前年実績を下回っている。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・当店は出張客が多いが、日帰り出張が増えているため、そういう客が減少している。
		その他飲食〔そば〕（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの試合の日は、早く帰宅する客が多く、夜の来客数、売上ともに減少している。しかし、全体的な来客数や客単価は、心配したほどの変化がない。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・来客数を増やしても、単価の低下幅に追いつかず、東北はまだ下げ止まっていないと感じている。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・前年との比較では、売上が10%減少しており、3か月前も同じである。今年に入りずっと前年を10%下回る状態で推移している。
		都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・サッカーワールドカップにより、宿泊は良いが、サッカー関係者以外の、宴会付き宿泊の客などが入れず、売上は減少している。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・前年との比較では、サッカーワールドカップ新潟開催という要因により、来館者数は宿泊を除き減少しており、特に宴会、婚礼、レストランは大幅に減少し、ホテル外の館外店舗も同様である。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・サッカーワールドカップの開催地であるため、宿泊販売量は一時的に増加しているが、全体を牽引はしていない。
		タクシー運転手	単価の動き	・サッカーワールドカップや梅雨時期であるため、利用客の増加を見込んでいたが、あまり変わらない。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・連休以降の客足が鈍く、前年実績を下回る状況が続いている。
		遊園地（経営者）	来客数の動き	・団体客の動きは前年並みで推移している。 ・梅雨らしい天候に加え、完全学校週5日制のプラス効果が無いことから、横ばいで推移している。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・3か月前との比較では横ばいであるが、前年と比べると150%の受注状況である。 ・最近、金融機関の融資スタンスが変化し、公務員や上場企業など職業を選別化した融資メニューが増えている。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で、ゲームのある日は極端に来客数が減少している。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・サッカーワールドカップで来客数が減少しているのに加え、入梅以降は低温となり夏物衣料が鈍化している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明		
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・サッカーワールドカップの影響で来客数が減少している。 ・ギフトの売上が低迷している。 ・午前中は目的買いの客が確実に来店しているが、午後は引けが早い。		
		百貨店（販促担当）	来客数の動き	・新潟はサッカーワールドカップの開催地であり、フリーガンの恐怖や市内の交通規制などにより外出するようなムードではなく、特に日本戦の日には来客数が極端に減少している。		
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・小売各店が出すチラシにより、客の買い回りが一段と目に付くようになっている。		
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・一部サッカーワールドカップ関連商品以外は依然として販売が低迷し、販売量が下げ止まっていない。		
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型3車種の受注販売は順調であるが、他の既販車については販売不振が相変わらずであり、また1台当たり単価も低下している。特に既販車の在庫が増え始め経営を圧迫している。		
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・自動車販売では、6月は春3月に続く需要期であるが、来客数が少なく、成約台数も伸びない。		
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・受注量が、前年の60%であり、特に量販車である軽自動車の動きが減少している。		
		その他専門店[酒]（経営者）	単価の動き	・このところ、高い商品も売れ出していたが、今月は単価の安い商品しか動いていない。		
		その他専門店[ガソリンスタンド]（営業担当）	販売量の動き	・販売数量が前年との比較で70～80%で、粗利も減少している。数量の減少は客の購買需要の低下を指す。		
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で、宿泊施設が満杯となり、学会や出張が減少し、当店では厳しいが、これだけ多くの方が仙台に来ており、良い業種もある。 ・高級寿司屋やタクシーも悪く、人は集まっても売上増に結び付いていない。		
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・サッカーワールドカップをテレビで観戦する客が多く、外食産業である当社は良くない。		
		スナック（経営者）	来客数の動き	・個人客の来客数は変わらないが、会合の二次会などの団体客が減少している。		
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新規参入業者が原因と思われる売上の減少が、少しずつ表面に出てきている。		
		住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・近隣の大型団地での来客数や成約数が減少している。 ・建売住宅の着工数が減少している。 ・各社のチラシを見ても、二重価格によって値引販売をしている。		
		悪くなっている		商店街（代表者）	販売量の動き	・天候不順やサッカーワールドカップでの日本敗退などで、盛り上がりが出ていない。
				一般小売店[医薬品]（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で、夜の繁華街に人がいなくなり、特に宮城スタジアムでの試合がある日は閑散として、飲食店では30%程度の売上減少となっている。
自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子			・整備車庫在庫数が減少し、特にトラック関係が悪く、物流の減少が悪く影響している。		
住関連専門店（経営者）	来客数の動き			・決算セールを企画しても、来客数が増えない。 ・客は、通常の商品に興味を示さない。		
タクシー運転手	販売量の動き			・サッカーワールドカップのテレビ放映がある日は、早々に帰宅する客が多く、夜の繁華街は人出がない。 ・仙台はサッカーワールドカップの予選リーグ開催地であるが、当日は特に人出が少なく、飲食店やタクシーではまったくマイナスになっている。 ・海外からの客は、タクシーはメディア関係者を除き利用せず、経済的にはマイナスばかりが目立っており、早くサッカーワールドカップが終わって欲しい。		
通信会社（営業担当）	競争相手の様子			・客に設備投資意欲がなく、逆に設備を除却するような解約の動きが増えている。		
企業動向関連	良く なっている やや良く なっている			-	-	-
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・サッカーワールドカップは飲食業に悪い影響を与えているが、東京進出は着実に進捗している。		
		木材木製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・生鮮食料品の価格が上昇しつつあり、在庫調整が一段落している。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・各社共に増産態勢は整備されており、投資も当初の予算外投資が増えている。
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・ここに来て、2、3か月後の受注にまだら模様が出ている。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・輸出の貨物量が、依然として前年より2けた台で増加しており、特に北米貨物はタイトな状態である。
		広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・記念事業の仕事が多く、2、3か月前より景気が良くなっているように感じられるが、記念事業であり今月だけの特殊要因であるため、全体では変わっていない。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・HP更新などの作業を外注に回し、より本格的な販売促進活動を始める企業が増えている。
	変わらない	農林水産業（従業者）	それ以外	・天候に恵まれ、作柄も良く、農機具や資材を買い替える農家が増えている。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月は選挙関連の仕事はあるものの、それを除くと前年を下回っている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量はやや増加しているが、販売価格が低下したままの状態が続き、全体としては3か月前と変わらない。
		その他非製造業 [ 飲食料品卸売業 ]（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・数量は出ているが価格が低下しており、それに値引分を計算すると売上が減少している。 ・売れるメーカーは良いが、売れないメーカーは価格だけが低下している状況である。
	やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先にかなりバラツキが出てきており、良い悪いの差が極端に広がっている。また悪い状況の方が過半数になっている。
		建設業（経営者）	それ以外	・サッカーワールドカップのテレビ観戦のためか、飲食店やタクシーでは客が減少していると嘆いている。
		新聞販売店 [ 広告 ]（店主）	取引先の様子	・チラシを入れる会社が減少し、また10か月以上未納の会社もある。 ・長い取引があっても、経費節減のために購読中止をする会社が増えている。 ・経費節減のために、事務員をリストラしても更に経営が悪化して本社の指導を受けている同業店がある。
		コピーサービス業（経営者） その他企業 [ 企画業 ]（経営者）	受注量や販売量の動き 取引先の様子	・店頭と外商販売を持っているが、受注件数、受注量、受注額とも減少している。 ・住宅会社各社の受注状況では、価格競争が一段と激化し、建築棟数が少なく、また平均延床面積が小さくなっている。
	悪くなっている	食料品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・スーパーでも客単価の低下が著しく、当業界ではこれから不需要期に向かうこともあり、一段と価格競争が激しくなる。
		繊維工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前は夏物シーズン最盛期で、今月は冬物生産の準備期間であり、季節差はあるものの、受注量、生産量ともに予想外に少ない。売れ筋がつかめず、アパレル業界のリスク回避が出ている。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・営業職やエンジニア職などの採用を増やそうとする企業が増えている。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・例年、派遣依頼の少ない時期であるが、紹介予定派遣は反響が大きく、過去に無いほどの依頼が殺到しており、特に営業職の依頼が多い。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・アルバイト、正社員共に求人が前年並みに近づき、回復しつつある。
		新聞社 [ 求人広告 ]（担当者）	求人数の動き	・依然として、周囲は厳しい環境が続いているが、求人数の動きで若干上向いており、前月との比較で7～8%の増加である。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が13年4月以来初めて、前年実績を上回っている。 ・有効求人倍率も0.30倍と前月より0.02ポイント改善している。	
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	周辺企業の様子	・広告関連業界への派遣が多いが、派遣先の広告会社では2～3割以上の採用削減をしており、派遣社員の受入れ見合わせが増えている。
求人情報誌製作会社（編集者）		雇用形態の様子	・正社員よりもアルバイトの求人の方が多い。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		新聞社〔求人広告〕（担当者） 職業安定所（職員）	求人数の動き 雇用形態の様子	・求人広告は少し動き出しているが、正規社員の求人広告は少なく、良くなっているとは言えない。 ・新規求人は2か月連続で前年同月を上回っているが、派遣や請負の求人も多く、求人条件は低下している。
	やや悪くなっている	アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・地方自治体は軒並み費用削減になっており、受注減が続いている。また値下要求も増えており、厳しい。
	悪くなっている			

### 3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	スーパー（店長）	来客数の動き	・5月に引き続き、前年比での来客数は125%前後、客単価が落ちているので、売上は120%前後であり、この傾向は続く。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・受注金額が、前年同月比で15%増加の見込みとなっている。
	やや良くなっている	スーパー（経営企画担当）	競争相手の様子	・この2か月くらい間に、競合していたディスカウント系のスーパー2社が倒産、閉店となり、客が流れてきて、売上が増加している。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・売れ筋を欠品させないことや、発注担当者の意識を変えたことで、売上、来客数ともに前年の95%まで回復している。ボーナスが一部始まったこともあり、単価が上昇してきている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・仲間や家族で食事をする客が増加しており、同時に客単価も、少し上昇している。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・新機種の発売もあり、新規契約数は大幅に伸びてきている。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・例年の梅雨の時期に比べて、団体客の入り込みが少ないが、一般客の動きは依然として好調である。昨冬季に導入した大型アトラクションの効果が継続している。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・パーマ客は減少しているが、毛染めの客は非常に増加している。1つの社会現象である。
		設計事務所（所長）	来客数の動き	・3か月前と比べて、客の注文が多少増加している。
	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・消費者の買い控えが目立ち、学校で必要なキャンプ用品も、先輩、近所の人から借りるとい声が多に多い。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・客の小遣いが少なくなっているようで、楽しみにしている趣味の物も我慢しているという状況が続いている。
		一般飲食店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・陽気が良くなり、人の動きがあると思われたが、サッカー人気で一部の人が動いているだけである。職がなく、遊んでいる人が多く、お金は使わない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	単価の動き	・単価は現状維持の状態が続いており、更に、来客数の減少が追い打ちをかけている。
		百貨店（売場主任）	単価の動き	・価値ある物で、しっかりした商品が動いてきている。安かろう悪かろうではなく、きちんとした値段、金額の物が売れている。
百貨店（販売促進担当）		お客様の様子	・50周年記念のイベントを大々的に開催したが、期待したほどの売上拡大はない。安くても、無駄な物は購入せず、消費は厳しい。	
百貨店（販売促進担当）		販売量の動き	・来客数はこの2か月ほど伸びているが、売上には反映されない。	
百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・DMによる招待会を開催したが、動員客数が昨年を下回り、正規価格の品が苦戦している。		
スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が前年比95%、売上点数も大体同じような水準にある。状況は3か月前と変わっていない。		
スーパー（営業企画担当）	販売量の動き	・この数か月、単価は前年比90～95%、来客数は95～100%程度と、若干悪い状態のまま横ばいで推移しており、前年並みの売上を維持するのが難しい。		
コンビニ（経営者）	お客様の様子	・残念ながら、サッカーワールドカップの影響はほとんどなく、逆にテレビの放映中に来客数が減少してしまっている。		
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・土日の来客数の減少に歯止めがかからない。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・来客数、販売量にあまり動きはない。単価が非常に安く、その中から利益を得ることが大変難しくなっている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の販売台数は、相変わらず前年比70%台であり、売れ筋は低価格車に集中している。
		住関連専門店（店長）	来客数の動き	・来客数は増加しているが、必要な物でも買わないので、点数はそれほど増加していない。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	単価の動き	・元売の仕切り価格が、横ばいか、やや下がり気味となり、単価の動きも一応安定してきている。
		高級レストラン（店長）	来客数の動き	・販売促進イベントや商店街のイベントのときは、客の反応も多少良くなっているが、通常営業時の来客数は、依然として伸び悩んでいる。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数がそれほど伸びておらず、3か月前と変わっていない。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・ビジネス客の利用が少ない。
		旅行代理店（営業・管理担当）	来客数の動き	・来客数は増加しているが、単価は低下しているため、売上は増加しない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・サッカーワールドカップがTV放映されている時間は、全く客がいらない。
		観光名所（職員）	お客様の様子	・景色を見に来る観光客は例年並みであるが、レストラン、ホテルの利用客は減少している。
		競輪場（職員）	競争相手の様子	・来客数、販売額、単価が、すべて底ばい状況である。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・関連会社の倒産があり、お金の回収がなかなかできなくなっている。
やや悪くなっている		商店街（代表者）	来客数の動き	・6月は梅雨寒あるいは、サッカーワールドカップの影響で、来客数が若干減少している。客単価は10～20%低下している。
		コンビニ（店長）	競争相手の様子	・客の様子が非常に変わってきている。来客数が減少し、買物も非常に少なくなっている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・夏物の立ち上がりやボーナス商戦で、正規価格品の売上が見込める月であるが、客単価が低下している。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・パソコン販売では、ノートPCの比率が上がっているが、販売量が減少している。プリンタ、デジカメの単価低下もあり、全体の売上、販売量が減少している。
		その他専門店〔携帯電話〕（従業員）	販売量の動き	・携帯電話を新規契約する客は減少しているが、新商品の発売に伴い、機種変更の客数は過去最高となっている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で、日本戦や良いカードの試合日は、ほとんど客が来ない。原因がはっきりしていることから、今後についてはそれほど悲観していない。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・総会シーズンであるが、各団体とも規模を縮小する傾向にある。
		旅行代理店（従業員）	単価の動き	・低価格路線が続いている。サッカーワールドカップ後の申込が鈍く、例年の6割くらいの出足となっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・深夜2時まで営業しているが、深夜の利用客が減少している。12時半の最終電車の後は、1回も客が入らないことがある。
		その他サービス〔自動車整備業〕（事務長）	お客様の様子	・1回目の車検台数がめっきり減り、3回目以降が依然として多い。部品の交換では、中古部品交換の要請、次回定期点検まで部品交換を見合わせる客がまだまだ多い。
		設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・公共事業もないので、かなり厳しく、同業者の工務店でも、仕事量が減少している。 ・客が慎重になっており、契約に至るまで長い期間がかかる。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・依然として、土地の販売が苦戦している。安定企業に勤める客が成約したが、金融機関による融資の可否は、業種、勤務先によって、明確に分かれている。
悪くなっている		商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街で、閉店、倒産が月に1軒ぐらいの割合で、目立つようになっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・郊外型大型店の台頭に苦慮している。商店街の生き残りをかけた施策を実施してきたが、来客数は減少する一方で、このままでは街が消えてなくなってしまう。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数は、5月に続いて極端な減少傾向にあり、前年比でマイナス15%強と大幅なダウンである。
		乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・客の倒産件数が増加している。優良ユーザーから車を買ってもらえなくなり、来客数が極端に減少している。
		スナック（経営者）	競争相手の様子	・酒を飲む人口が少ない割に店舗が多いため、過当競争になっている。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・3～5月には前年並みであった来客数が、サッカーワールドカップの影響か、6月は大幅に減少している。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・客が少なく、過当競争になっている。業界でも、近所の中心街でも、単価を下げているが、販売量の動きが鈍い。
企業 動向 関連	良くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年の大量受注稼働に加え、新社屋が完成して、開講する教室に受講生が多く参加し、順調なスタートとなっている。
	やや良くなっている	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・前月ごろから、徐々に受注数量は増加しつつあるが、単価は依然として低い水準にある。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が前年比で若干増加に転じている。2、3か月前は前年比10%であったので、底入れした感がある。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・湯水等の状況から、水の売行きが好調なため、飲料水の配送が増えている。
	変わらない	化学工業（総務担当）	それ以外	・仕入れ先への支払手形の金額が小額なまま、推移し続けている。これ以上は落ち込まない。
		金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・悪い状態のままで、3か月前と変わらない。設備投資の関係で、大手向けに工作機械の動きが多少出ている。
		精密機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・引き合いは増加しているが、単価が安く、取引の成立がなかなか難しい。
		その他製造業 [宝石・貴金属]（経営者）	受注量や販売量の動き	・依然として、受注は伸びていない。取引先も在庫調整が進み、新しいものへの関心は高いが、まとまった発注にはつながらない。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・IT関連企業を中心とした製造業では、在庫調整のめどが立ち、受注は安定してきているが、受注単価の低迷で利益率の悪い状態が続いている。
		新聞販売店 [広告]（総務担当）	それ以外	・チラシの出稿量は、前年比で5%マイナスとなっている。単価が1万円である暑中見舞いの新聞名刺広告の出稿予約状況は、今のところ半減している。
	やや悪くなっている	食料品製造業（製造担当）	取引先の様子	・得意先が、仕入れの原価のみを下げ、売価を変えようとせず、もうけを増やそうとしている。
		金属製品製造業（経営者）	競争相手の様子	・業界全体の仕事量が激減しており、いくつかの企業で、工場が稼働せず、遊び等が発生している状況である。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・相変わらず価格の低迷が続いており、全体として、見積り件数等も月を追って少なくなっている。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・小売店の店主から、サッカーワールドカップによる売上の増加を期待していたが、関連グッズは売れたものの、その他の物がそれほど売れていないと聞いている。
その他サービス業 [放送]（営業担当）		受注価格や販売価格の動き	・新規の引き合いはあるものの、受注価格の値下げ要求が強く、新年度年間契約の落ち込みを埋められず、利益は減少傾向にある。	
悪くなっている	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・5月と同様、生産が海外にどんどん移行しているため、受注量は減少、単価も低下しており、最悪の状態である。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前は受注量が上向いていたが、6月は史上かつてないほどの厳しい売上である。	
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・生産関係の求人募集は、ほぼ横ばいで、動きとしては穴埋め、欠員補充程度である。求人は出しているが、即戦力となる人間がそろっておらず、3か月前と変わらない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・半導体製造関係においては、地方の中小企業でも、派遣依頼が久しぶりにあり、明るさがみえてきている。一方で、その他の企業は依然として慎重で、事務部門、営業部門などの派遣要請はほとんどない。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・リストラされた求職者の増加に加え、労働条件の低下等で、先行きに不安を感じた在職者や、リストラによる退職予定者からの相談が増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規常用求人は対前年比で減少し続けており、求人倍率は依然として低迷しているが、製造業では時間雇用の求人を中心として、求人数の増加がみられる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・特に製造業において、従業員の賃金抑制目的で、業務請負業者を活用しており、職安への求人が減少傾向にある。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・製造業では、業務量は増加しているが、納期、コストが大変厳しい。パート、アルバイト、派遣社員等の一時的な求人は増加しているものの、社員の新規採用については依然として慎重で、不安定な要因に変化はない。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・今春卒業者に対する求人問い合わせは多くはないが、営業、販売、サービスなどで問い合わせがある。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・周辺企業の倒産が相次いでいる。
		求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・管内企業は依然厳しい状況にあり、正社員を減らし、パートで何とか補っている。特に、中高年者の雇用は悪くなっている。
	悪くなっている			

#### 4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計動向関連	良く なっている やや良くなっている	-	-	-	
		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・サッカーワールドカップの影響で、サッカーショップの商品が、例年より8、9倍売れている。	
			スーパー（経営者）	販売量の動き	・客の購買意欲が若干高まっており、6月は売上目標を達成している店舗が増加している。
			スーパー（店長）	販売量の動き	・気温が低く、夏物の売行きは厳しいが、店全体では来客数の2桁の伸びに加え、1人当たりの販売点数も2点程度増加しており、単価の低下を販売量の増加でカバーしている。
			コンビニ（店長）	販売量の動き	・6月1日から酒の販売を開始し、酒の売上は平均で1日の売上の5%を占めている。来客数も若干増加し、タバコの販売量も微増となっている。
			衣料品専門店（店長）	それ以外	・来客数の減少に歯止めをかけるため、販売方法に変化をつけ、来店歴のある顧客への働きかけを行ったことにより、客の決定率、購入点数が上がり、売上が増加している。
			その他専門店〔眼鏡〕（店員）	単価の動き	・サッカーワールドカップの影響が、来客数は依然として伸び悩んでいるものの、高額品等、良い商品の動きは順調で、売上はやや増加している。
			都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・文化団体等の予約について、従来は低下していた単価が、上昇してきている。
			旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・サッカーワールドカップの日本戦終了後、客が本来の消費行動に戻りつつある。
			タクシー運転手	お客様の様子	・サッカーワールドカップ開催で、暗いニュース、悪いニュースが流れなかったためか、6月中旬からはかなりの人出があり、売上も多少回復している。
			通信会社（営業担当）	販売量の動き	・CATV及びケーブルインターネットの販売量が、ともに増加している。
			観光名所（職員）	販売量の動き	・来客数が8%増加している。
変わらない		住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べると、住宅を購入する客の数が格段に増加している。即決はせず、2週間から1、2か月検討した後ではあるものの、住宅購入の動きは活発になっている。	
		商店街（代表者）	来客数の動き	・来街者数が安定せず、増加したり、減少したりの状態が続いている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔衣料・雑貨〕（経営者）	お客様の様子	・近隣の観光名所で大型イベントが実施され、オーバブラウス、ジャケットは9800円を上限に、インナーやTシャツは5900円の商品を中心に値ごろ品が売れたが、全体的な売上は変わらず、横ばいである。
		一般小売店〔文房具〕（経営者）	それ以外	・サッカーワールドカップ開催で、人通りが極端に少ない日が何日もあり、売上に響いている。
		一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	販売量の動き	・6月はサッカーワールドカップ開催や天候不順の影響で、店頭への来客数が減り、売上も減少しているが、外商は相応の成績である。
		百貨店（副店長）	単価の動き	・買上点数は多少増加しているが、依然として特売志向が根強く、売上の増加は難しい。
		百貨店（企画担当）	来客数の動き	・カード会員優待会、中元優待会等による売上を除くと、この数か月の売上は同水準で推移しているが、来客数は2～3%前後下回っている。
		百貨店（営業企画担当）	来客数の動き	・服飾雑貨、食料品及びお中元の売上は好調であるが、婦人服、紳士服等の衣料品は、夏のセールを前倒して行っても売上に結び付かない。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・6月は梅雨寒で、アパレル関係が苦戦しており、婦人物は過去にないほど悪い状態である。 ・サッカーワールドカップの影響で、日本戦がある日は売上が落ちている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・6月前半は天候も良く、来客数、客単価ともに上昇したが、梅雨入り後はいずれも低下し、衣料品、雑貨を中心に売上が減少している。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・5月は客の動きが多少良かったが、6月に入り、サッカーワールドカップの試合放映日には来客数が激減したこともあり、売上が以前の水準に戻っている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・6月は例年と比べて気温が低く、衣料品の売行きが芳しくない。
		家電量販店（店長）	競争相手の様子	・競争相手の規模が大きく、粗利が取れない。単価も低下しているため、売上が増加しない。
		乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・高額車に関し、客の購買意欲が高まっていない。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・毎週イベントを開催しているが、来客数が増加していない。購入意欲はあるものの、やはり車検を取ってもう少し乗ろうと考え直す客も多く、販売台数もそれほど増加していない。
		その他専門店〔キャラクターグッズ〕（従業員）	販売量の動き	・サッカーワールドカップ需要に期待していたが、アジア以外からの外国人客が目についたものの、横浜店の売上が不振であるなど、大きな成果は上がっていない。
		その他専門店〔燃料〕（売場主任）	単価の動き	・仕切り単価の上昇分を、販売単価に転嫁しにくい。
		高級レストラン（支配人）	販売量の動き	・受注件数と売上が若干減少している状況が変わらない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響が、予約以外の客が極端に少ない。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップだけが理由ではないが、街には人は集まっているものの、店には客は来ていない。
		都市型ホテル（スタッフ）	競争相手の様子	・サッカーワールドカップの影響で、競合他社の売上が軒並み減少している。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・国内外の夏の旅行について、宿泊数が増加しておらず、単価も比較的低いままである。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で、野球イベントのスケジュールが変更になるなどして、来客数が減少している。
		パチンコ店（経営者）	競争相手の様子	・6月はサッカーワールドカップの影響があり、夕方から試合を見る人が多く、夜の客が少ない。
		その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	来客数の動き	・サッカーワールドカップ開催で来客数が減少するかと思われたが、予想に反し、多少増加しており、良い状態で変わらない。
		その他レジャー施設（経営企画担当）	それ以外	・サッカーワールドカップの開催により、ホテル等は高稼働が続いているが、飲食店の来客数は減少している。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数が安定している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他サービス [語学学校] (総責任者)	単価の動き	・最近、単価が低い短期間集中コースが売れており、消費者は授業料の高いコースには手が届かない。
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・積極的にキャンペーン等を行っているが、販売量は3か月間ほぼ横ばいである。
	やや悪くなっている	商店街(代表者)	お客様の様子	・最近、留袖を見に来た客がいるが、他店の値段と比較しており、値段に関してかなりシビアな交渉が行われた。客の方が強気で、値引き要請が続いており、結論はまだ出ていない。商品が思うように売れていない。
		商店街(代表者)	お客様の様子	・サッカーワールドカップが始まって以来、街中や当店でも、客が浮き足立っている。 ・天候不順のため、来客数が減少している。
		一般小売店[雑貨](経営者)	単価の動き	・サッカーワールドカップ等で人出はあるが、単価が非常に低い。
		一般小売店[パン](従業員)	お客様の様子	・サッカーワールドカップの影響で、客の出足が悪い。
		一般小売店[靴・袋物](従業員)	お客様の様子	・夏のセールが目前に迫っていることもあり、客は買い控えている。父の日等のイベント需要は好調であるが、月間の販売を押し上げるほどの効果はない。
		百貨店(売場主任)	来客数の動き	・天候の問題、サッカーワールドカップの影響があり、6月の客足は少なく、最近に例がないほどの落ち込みである。
		百貨店(売場主任)	お客様の様子	・人々の関心がサッカーワールドカップに集中し、開催中の来客数が減少している。 ・クリアランスの開始を待っている客が多い。
		百貨店(企画担当)	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響に加え、雨の日が多く、気温も低下している影響で、盛夏物の正規価格品が売れず、衣料品売場は打撃を受けている。
		百貨店(広報担当)	販売量の動き	・梅雨らしい天候で気温も低く、夏物衣料の売行きが不振である。加えて、サッカーワールドカップの日本戦があった日には、来客数、売上とも記録的な大幅減となっている。
		百貨店(営業担当)	それ以外	・食料品はBSE問題の影響は残るものの、自家需要を中心に比較的堅調に推移している。反面、婦人衣料は大型連休以降勢いがなく、苦戦している。
		百貨店(営業企画担当)	単価の動き	・3か月前には、前倒して好調な動きをみせた夏物商材が、実需期に入った6月には、婦人関連を中心に苦戦しており、客はセールを待っている。秋色夏素材の端境期ファッションは、販売数は増加しているが、Tシャツが中心で、単価は低い。
		百貨店(販売促進担当)	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で来客数が減少し、その結果が顕著に表われている。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・天候が悪く、気温も低いので、盛夏物の衣料品の売上が95%、水着は70%と不振で、食料品は、香料の問題があった菓子関連を含めて95%となっている。また、サッカーワールドカップの日本戦が行われた4日間については、売上が87.9%で、全体でも来客数が94.8%、売上が98%と、やや悪くなっている。
		スーパー(店長)	お客様の様子	・添加物問題で、食品全体への不信感が増大している。
		スーパー(統括)	販売量の動き	・サッカーワールドカップ関連グッズの売行きは比較的好調であるが、日本戦のある日は客がおらず、日本戦以外の試合のある日も影響を受けている。
		コンビニ(店長)	販売量の動き	・ギフト券、主にビール券の販売量が低調であり、引換枚数も減少している。
		家電量販店(店長)	お客様の様子	・もともと割引販売をしているが、競合店がかなり単価を下げていることから、割引幅が大きくなり、原価販売に近い商品も出ている。単価は低下しているが、来客数は減少している。
		家電量販店(店長)	販売量の動き	・サッカーワールドカップ需要で、3か月前から好調であったビジュアル商品の売上が、6月に入って苦戦している。 ・天候の問題で、エアコン等の販売台数が伸び悩んでいる。
		家電量販店(営業部長)	販売量の動き	・サッカーワールドカップ開催前は、ビジュアル部門を中心に需要が盛り上がったが、期間中は来客数が極端に減り、売上に大きな影響が出ている。
		住関連専門店(統括)	来客数の動き	・土日の来客数が少なく、販売量も減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップが始まり、来客数が増加すると思っただが、客は東京に流れているようである。東京以外の場所でも、客は駅周辺に偏り、来客数は減少している。
		高級レストラン（宴会予約担当）	販売量の動き	・6月はサッカーワールドカップの影響で、宴会部門がかなり打撃を受けている。当ホテルの宿泊部門も、キャンセルが出て、当初見込みを下回っている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響が大きく、来客数が極端に減少している。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・7月を迎えるが、個人旅行の受注件数が少ない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・先行きが不安で無駄使いができないと、2kmぐらいなら歩いて帰る人が多くなっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・毎年6月は相応の忙しさがあるが、今年は雨が降っても客が乗らない。1つ1つの仕事が細かく、売上が伸びない。当該地区において、タクシーが30台増車となっていることが影響している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・6月は、客の関心がサッカーワールドカップに向かい、夜の動きが全くない。日本戦のある日には、街に客がいなくなる。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・加入者が増加しない状況の中で、6月は解約者数が特に増加している。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	お客様の様子	・夏季講習の申込の時期であるが、私立中学、高校に行っている生徒たちはお金がないので、講習は受けられないという声が多く寄せられている。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・客からの受注が予定通りに決まらない。
	悪くなっている	一般小売店〔茶〕（経営者）	来客数の動き	・6月の来客数は大きく減少し、かつてない水準にまで落ち込んでいる。
		百貨店（企画担当）	来客数の動き	・来客数が減少している。昨年の夏は、6月20日以降ほとんど雨が降らず、気温も上昇し、夏物衣料や雑貨が好調であったが、今年は気温が低く、雨も多いため、衣料品を中心に売上が大変厳しい。中元ギフト商戦も盛り上がり欠ける。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・天候やサッカーワールドカップに左右され、客が落ち着かない様子である。 ・夏物の前倒しが必要に影響し、気温の低さも売上に響いている。
		自動車備品販売店（経理担当）	来客数の動き	・来客数が少なく、得意先の従業員が時間を持て余しているという話が多く聞かれる。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で、外に人が出ていない。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップで、来客数が3割減少しており、非常に厳しい。
		タクシー運転手	お客様の様子	・6月はサッカーワールドカップの影響で、売上が10%以上のマイナスとなっており、特に東京では落ち込みが大きい。
		タクシー運転手	お客様の様子	・サッカーワールドカップ観戦のため、人が早く帰り、街中に人がいない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・サッカーワールドカップの試合が夜に実施される場合は、客の帰宅が早い。
		通信会社（総務担当）	お客様の様子	・新規の獲得顧客数が伸び悩み、既存の加入者の解約も出ている。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
		-	-	-
	やや良くなっている	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・6月は、10万円前後の受注が3件あり、そのうち2件は一部上場企業からのものである。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客から新規受注を何件かもらっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		金融業（渉外担当）	取引先の様子	・近年、減収減益に歯止めがかからず、資金繰りも繁忙であった企業に、ようやく立ち直りの兆しがみえ始めている。リストラへの取り組みで固定費削減に成功し、損益分岐点を下げ、利益を計上できるまでになり、資金繰りも順調に回るようになってきている。
	変わらない	プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量ともに、低調な水準で推移している。
		精密機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・中国の輸出向け等、やや良くなっている取引先もあるが、全般的には悪い状態ではない。
		建設業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・低額物件に動きはあるが、1億円超の大型物件は極端に減少している。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べ、受注量や販売量が増加しておらず、景気は悪い状態ではない。
		通信業（営業企画担当）	受注量や販売量の動き	・通信機器の買い換えではなく、再リースを選択する客が目立つ。
		金融業（得意先担当）	受注量や販売量の動き	・取引先では、売上回復の目途が立たず、設備投資も控えている。
		広告代理店（営業担当）	競争相手の様子	・薄利での無理な営業が原因で、中堅規模の同業他社が倒産している。
	やや悪くなっている	食料品製造業（経営者）	それ以外	・サッカーワールドカップの恩恵を受けるのは一部の企業であり、大多数は悪い影響を受けている。
		繊維工業（経営者）	取引先の様子	・今年の梅雨は、気温が低い上に長引いており、店の衣料品の売行きが悪いと聞いている。受注にも影響が出ている。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・当社が借りている工場の大家は、IT関連の部品メーカーであるが、先週末、会社更生法の適用を申請し、事実上倒産した。また、取引先の板金加工会社が、6月一杯で工場を閉鎖している。身近な企業が廃業や倒産に追い込まれている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・サッカーワールドカップの開催により、ビデオ等のハード関係は好調であるが、ソフトの売上は減少しており、売上は3か月前より24%減少している。
		金融業（審査担当）	取引先の様子	・公共工事の削減や入札方法の変更により、建設業を中心に受注が減少し、資金繰りに行き詰まり、倒産する企業が出ている。
		不動産業（経営者）	競争相手の様子	・土地の仕入れが徐々に難しくなり、特に、中小企業は大企業に仕事を取られている。
	悪くなっている	金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・見積り合わせの価格が下落し、歯止めがかからない。特に、海外との見積り合わせの話が出ているのが気になる。
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・各荷主を回っても荷物がなく、新規の仕事もない。大変苦しい状態である。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・どん底の状態が続いていた製造業、特に電機関連企業から、生産活動の好転を要因とする期間雇用の求人が増加している。 ・自動車関連で、受注増を背景とする期間雇用の求人ニーズが出始めている。 ・一時的に落ち込んでいた業務請負企業からの求人申込に、増加の動きが出始めている。
		学校〔専門学校〕（教務担当）	それ以外	・コンピュータ関連の職種への求人は、引き続き多く、内定状況も良い。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・インターネットで検索し、若い求職者が来社するので、求人側の希望に合わず、採用数は伸びない。 ・サッカーワールドカップ効果で、もう少し求人数が増加すると思ったが、思うようには増えなかった。
		人材派遣会社（社員）	それ以外	・企業または派遣スタッフ側からの契約終了の希望に対して、企業が代わりの雇用を全く考えないか、パートに切り替えてコストの削減を図っている。長期派遣終了後、新たに長期派遣が開始される割合は2分の1程度である。
		人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・半導体メーカーで雇用の動きが多少出るなど、下げ止まり感はあるものの、意識できるほどではない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・5月はサッカーワールドカップ関連の求人があり、求人数が増加したが、6月は以前の状態に戻り、5%以上の減少となっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		民間職業紹介機関（経営者）	求職者数の動き	・最近、リストラ会社から再就職支援会社への登録者が増加し、当社でも45～60歳の登録者が急増しているが、この年齢に合う求人は非常に少なく、採用、紹介が難しい。
		学校〔短期大学〕（総務担当）	求人数の動き	・求人票の着信数が約3割少なくなっており、1社当たりの採用数も減少している。
	やや悪くなっている	-	-	-
	悪くなっている	職業安定所（所長）	求職者数の動き	・新規求人が増加しているが、新規求職者の増加幅も拡大し、求人倍率は低下している。

### 5. 東海（地域別調査機関：（株）U F J 総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連	良くなっている			
	やや良くなっている	スーパー（店長）	単価の動き	・新企画が当たり、客単価が上昇している。客は欲しい物に対してはお金を使う傾向が顕著になっている。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数が増加し売上は増えたが、相変わらず安い商品しか売れない。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・客の購買意欲が高まっており、売上は前年比100%をクリアしている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・土日の来客数が増加しており、土日の売上は前年比で少し回復している。 ・客単価は前年と比較すると回復していないが、3か月前と比べると少し上昇している。
		住関連専門店（店員）	販売量の動き	・夏物の動きが好調で、前年と比べて特に高単価商品が売れており、売上は対前年比で伸びている。財布のひもが緩んでいる。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	来客数の動き	・来客数、レジ客数とも対前年比で増加している。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・研修や宴会の利用件数が増え、レストランの利用も対前年比で増加している。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・特別なキャンペーンを行っていないが、新規契約者数が増加している。値上げしたにもかかわらず、契約増のサービスもある。
		その他サービス〔語学学校〕（経営者）	販売量の動き	・サッカーワールドカップの特需が多少ある。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・住宅受注量は増加している。	
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・来客数、購買意欲ともに変化がない。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・客は相変わらず必要な物以外は買わない。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・単価、買物内容は安定してきている。
		商店街（代表者）	競争相手の様子	・スーパーに対抗するため外国製品を扱うようになったが、500～600円の単価では思うように売上が伸びない。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・4月以降週末の観光客は増加しているが、逆に平日は落ち込む傾向が出ている。団体客から個人客への移行が一層進んでいる。
		一般小売店〔薬局〕（経営者）	販売量の動き	・客は相変わらず必要な物以外は買わない。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・在庫一掃セールを前に客が買い控えているうえに、肌寒い日が続く、夏物の動きがストップしている。
		百貨店（外商担当）	お客様の様子	・催事の勧誘をしても、以前なら来てくれていた人から、買えないから行かないといった答えが返ってくる。
百貨店（売場主任）		お客様の様子	・明らかにバーゲンの下見といった客が多く、購買意欲が依然として感じられない。	
スーパー（経営者）		お客様の様子	・チラシ広告による競争が一層激しくなり、客は曜日毎に買う店を決めている。固定客へと移行させるのは難しい。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数は前年と変わらないが、買い上げ点数、客単価とも低迷が続いている。 ・食品添加物問題や日付改ざん問題等、食品に対する不信感が募り、回復の兆しがみられない。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・単価の安い定番商品はいつもの倍以上売れており、客は安い物を求めている。
		スーパー（仕入担当）	単価の動き	・客単価は対前年同月比ではやや下回っているが、2～3か月前と比べるとほぼ同水準で推移している。 ・来客数は対前年比ではやや上回っているが、2～3か月前と比べると変化はない。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・来客数の増加傾向、客単価の低下傾向に変化はない。
		衣料品専門店（企画担当）	来客数の動き	・単価の下げ止まりはみられるものの、来客数が増加してこない。店のイベントを増やしているが、来客数増加に結びつかない。
		衣料品専門店（販売企画担当）	お客様の様子	・店頭での物の流れがそれほど良くなく、客の動きは鈍い。
		家電量販店（経営者）	お客様の様子	・併設の100円ショップは売れているが、家電の高単価商品は売れず、慎重な買物態度が続いている。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・競争による単価の下落傾向が続いている。
		自動車備品販売店（経営者）	単価の動き	・セールスにより客が増え、予算を何とかクリアしているが、客単価は相変わらず低い。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・3か月前はほぼ前年並みであったが、今まで新車を購入していた客が中古車に流れており、販売量、単価とも約20%上昇している。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・サッカーワールドカップの試合時間帯の来客数は減少しているが、平日の試合のない時間帯は来客数が増加してきている。
		その他小売〔貴金属〕（経営者）	単価の動き	・客の購買意欲はやや改善しているが、単価は低下傾向にあるため、全体の売上は減少している。
		高級レストラン（スタッフ）	単価の動き	・平均単価、客単価が相変わらず低迷している。サッカーワールドカップの影響もある。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップや飲酒運転の罰則強化の影響で、来客数が減少している。
		観光型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・飲料、土産物等の付帯売上の宿泊客当たりの平均単価が低下している。
		都市型ホテル（スタッフ）	競争相手の様子	・業績の良いホテルと、非常に悪いホテルが混在している。
		タクシー（営業担当）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で、試合のある日の夜は特に入出が少ない。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・使用量の動きに大きな変化はない。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・販売台数に特に大きな伸びはなく、高機能商品は価格が高いためなかなか売れない。
		通信会社（営業担当）	単価の動き	・客への値引きのため単価が低下している。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・お土産の購入態度をみていると、客は単価が安くて気軽な物を求めている。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・土日の来客数は多いが、全体的にはあまり変化がない。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・来客数は、対前年同期比で増加しているが、土日祝日は減少している。
		ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・来客数は横ばいである。
		パチンコ店（店長）	来客数の動き	・一時的ではあるが、サッカーワールドカップの影響で、来客数が減少している。
		その他レジャー施設〔劇場〕（職員）	単価の動き	・来客数はそれほど変わらないが、値引きしているため客単価の低下が著しい。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず客の回転が悪い。
		住宅販売会社（従業員）	それ以外	・入居者の自己破産が相変わらず減少しない。
		住宅販売会社（業務担当）	販売量の動き	・対前年同月期とほぼ同じ販売量に戻ってきている。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・展示会等イベントを開催しても、なかなか購入に結びつかない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔結納品〕(経営者)	お客様の様子	・3か月前は客の購買意欲は少し改善傾向にあったが、ここ1か月は沈滞ムードに陥っている。
		一般小売店〔酒〕(経営者)	販売量の動き	・飲酒運転の罰則が厳しくなったため名古屋中心街の飲食店の来客数が減少し、飲食店向けの販売量が大きく減少している。
		百貨店(企画担当)	販売量の動き	・サッカーワールドカップのテレビ観戦の影響か、来客数、購買客数、客単価ともに大幅に低下している。
		百貨店(企画担当)	来客数の動き	・サッカーワールドカップの日本戦がある日を中心に、来客数が確実に減少している。
		百貨店(経理担当)	販売量の動き	・販売数量が増加せず、低迷している。
		百貨店(販売促進担当)	販売量の動き	・来客数は前年を上回っているが客単価が低下しており、売上がついてこない。 ・婦人服、雑貨、食品は好調だが、紳士服、宝飾品、リビングが不振で前年を下回っている。
		百貨店(売場担当)	販売量の動き	・来客数は増加しているが、客の購買点数と購入率が低下している。
		スーパー(店長)	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で来客数が激減している。
		スーパー(店員)	販売量の動き	・先月まで売上は前年を上回っていたが、今月は前年を下回っている。売上、来客数ともに悪くなっている。
		コンビニ(経営者)	お客様の様子	・飲酒運転の取り締まり強化とサッカーワールドカップの影響で飲食店の売上が激減し、影響を受けている。
		コンビニ(店長)	来客数の動き	・例年より雨の日が少なく、売上、来客数は前年より多少良いが、雨の日は売上が前年と比べて極端に減少する。
		衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・相変わらず低迷が続いている。
		家電量販店(店員)	販売量の動き	・天候の影響もあり、販売量が減少している。
		乗用車販売店(経営者)	来客数の動き	・大規模な展示会を行ったが、思った以上に客の動向が芳しくなく、売上が増加していない。
		乗用車販売店(従業員)	単価の動き	・単価が低下している。
		乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・販売実績は対前年比85%となり、マイナスの流れを断ち切れない。
		乗用車販売店(従業員)	お客様の様子	・サラリーマンの客も自営業の客も、とにかく苦しいという話をしている。
		住関連専門店(営業担当)	お客様の様子	・持ち家住宅の購入は減少傾向にある。
		高級レストラン(経営者)	販売量の動き	・低単価のランチは売れ行きが良いが、客単価は依然として低く、来客数も変化がないため、売上も増加してこない。 ・法人利用が相変わらず低調で、そのうえサッカーワールドカップの影響も大きい。
		旅行代理店(経営者)	来客数の動き	・来客数が減少している。
		旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・例年だと夏休みに向け客が増加してくる時期であるが、思ったほど伸びていない。
		タクシー運転手	販売量の動き	・サッカーワールドカップの試合のある日は人通りが少なくなり、売上が落ち込んでいる。
		美容室(経営者)	来客数の動き	・対前年比でも3か月前と比較しても、来客数はかなり減少している。
		その他サービス〔パチンコ機器製造販売〕(エリア担当)	販売量の動き	・サッカーワールドカップの影響で、売上が減少している。
		設計事務所(職員)	お客様の様子	・これまでになく悪い状況である。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕(経営者)	販売量の動き	・販売量が減少傾向にあるうえに、1件あたりの工事内容も小さくなっている。
	悪くなっている	商店街(代表者)	販売量の動き	・5月の連休以降現在まで、販売量は極端に減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		スーパー（経営者）	競争相手の様子	・近隣で大型スーパーの新装開店があり、周囲のスーパーは一層安売り競争をしているが、中小の小売店への影響が特に大きい。	
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・飲酒運転の罰則強化とサッカーワールドカップの影響で、得意先の飲食店の売上が極端に悪くなっており、その影響を受けている。	
		衣料品専門店（店員）	単価の動き	・バーゲン前の買い控えだけでなく、客は全体的に買物を控えている。	
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・売上が急減している。サッカーワールドカップや飲酒運転の罰則強化の影響がある。	
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・サッカーワールドカップで経済効果のある業種もあるが、当業界は夜のテレビ中継の時間帯が悪く、最悪の状態である。	
		バー（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で、来客数の減少が激しい。	
		スナック（経営者）	来客数の動き	・飲酒運転の罰則強化とサッカーワールドカップの影響で、前年よりかなり売上、来客数ともに減少している。	
		タクシー運転手	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で、客足が遠のいている。	
		タクシー運転手	お客様の様子	・サッカーワールドカップの影響で、夜の客が激減している。	
		美容室（経営者）	競争相手の様子	・例年6月は悪いが、今月はそれ以上に客が少ない。	
		設計事務所（営業担当）	競争相手の様子	・競争がますます激しくなっている。	
		住宅販売会社（企画担当）	販売量の動き	・チラシ広告を出しても、ほとんど客が来ない。来客数が激減している。	
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-	
		やや良く なっている	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・メーカー、問屋、スーパー、生活者のいずれにおいても、商品の流れが弱い。
			鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売量は徐々に増加している。
	金属製品製造業（従業員）		受注量や販売量の動き	・受注量が一部増加に転じている。	
	一般機械器具製造業（販売担当）		取引先の様子	・受注する確率の高い引き合い件数が増加してきている。	
	輸送用機械器具製造業（統括）		受注量や販売量の動き	・単価は依然として厳しいが、受注量が少しずつ増加してきており、採算が取れる見込みが出てきている。	
	建設業（企画担当）		受注量や販売量の動き	・新規の大型工事物件は依然としてなく、全般的に工事規模が小さくかつ受注量も少ないままであるが、中型工事物件が少し出始めている。	
	建設業（総務担当）		取引先の様子	・企業がお金を使い始めている。	
	金融業（従業員）	取引先の様子	・店舗拡大や新店舗オープンの企業がやや増加している。		
	変わらない	食料品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・製品の価格を下げないと売れない状況が続いている。	
		食料品製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・販売価格の低下傾向が続いているが、販売量は変わらない。	
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・通常は月末近くになると受注量、販売量が増加するが、今月はその兆しが無い。	
化学工業（企画担当）		受注量や販売量の動き	・国内向けは狂牛病等の影響も解消してきたが、海外向けは円高の影響が出てきつつあり、相殺している。		
一般機械器具製造業（経理担当）		受注量や販売量の動き	・価格競争が厳しく、受注量は依然として伸び悩んでいる。		
電気機械器具製造業（経営者）		受注量や販売量の動き	・国内販売は、監視カメラなどの需要増で販売量にやや回復の兆しがあるが、輸出は欧州をはじめとして不振が続いている。		
電気機械器具製造業（従業員）		受注量や販売量の動き	・工業用ミシンの国際展示会への来場者は3年前に比べて25%増加したが、その後も国内受注は伸びていない。		
電気機械器具製造業（従業員）		取引先の様子	・客の在庫減少により受注が上向くと考えていたが、製品の動きがない時期を利用して客は生産を海外にシフトさせている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・国の補助政策の影響で継続して工事受注できている。	
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注残の改善がない。	
		輸送業（エリア担当）	取引先の様子	・競争が激化しており、客からの値下げ要求やサービス向上要求が非常に厳しい。	
		金融業（融資担当）	受注価格や販売価格の動き	・取引先の受注単価が低いため、単価の低い仕事をとらないと売上が減少する。	
		経営コンサルタント	取引先の様子	・土地取引件数の減少が続いている。	
		公認会計士	取引先の様子	・多くの顧問先企業で業績悪化が止まらず、業績が上向いている企業は極めて少ない。	
		税理士	取引先の様子	・顧問先企業の業績はあまり改善していない。	
	やや悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・製造ラインを一時的に停止する会社が、取引先で出てきている。	
		非鉄金属製造業（社員）	競争相手の様子	・倒産や事業縮小する同業者が目立っている。	
		一般機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・新規の設備投資をせず、修理で済ます企業が増えている。	
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・トラックへの積み込み台数が10%ほど落ち込んでいる。5%の運賃値引を要請する企業が2社ある。	
		新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・チラシ広告数はやや減少している。	
		その他サービス業〔社会労務士〕（経営者）	取引先の様子	・顧問先の中小企業で、特に間接部門での人員削減、リストラが進んでいる。	
		悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・陶磁器の出荷は和陶器、洋食器ともに大幅減少している。取引企業が東南アジアへ工場移転した影響が大きい。
	非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画）		受注価格や販売価格の動き	・価格の下落とともに数量が減少している。一段と市場が縮小し、競争が激しくなっている。	
	輸送業（エリア担当）		競争相手の様子	・荷物量が対前年比で日を追う毎に減少している。	
	雇用関連	良くなっている	-	-	-
		やや良くなっている	民間職業紹介機関（エリア担当）	求人数の動き	・求人数はやや増加している。
変わらない			人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・事務職員の求人が減少している。
		職業安定所（所長）	求職者数の動き	・新規求職者数の増加が続いている。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は対前年同月比で減少を続けているが、求職者数は対前年同月比で減少傾向がみられない。	
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・60歳前後の夫婦で、縫製、宅配便、リフォーム、商店等といった自営業を廃業し、求職を申し込む人が増えている。	
		職業安定所（管理部門担当）	求職者数の動き	・有効求職者数が引き続き増加しているため、有効求人倍率が低下している。	
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・求人数はほぼ横ばいである。	
やや悪くなっている		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・人員削減を進める企業が増加しており、派遣の新規受注が落ち込んでいる。	
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人状況は変わらないが、派遣料金の値下げや同料金でより能力の高い人を要求する企業が増えている。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告の申込は対前年同月比で77.5%で、3か月前と比べて3ポイント以上のマイナスとなっている。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率は3か月前に比べて0.04ポイント、前年同月比で0.17ポイント下落している。特に建設業において、公共事業や民間設備投資の減少により、求人数が半減している。 ・労働市場全体では、人件費抑制のため、正社員からパート、派遣、請負へと切り替える動きが加速している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・パートやアルバイト、業務請負等の求人広告の申込件数は対前年比で65.7%、3か月前と比較しても77.0%と、一段と減少している。過去5年間で最低の水準であり、雇用情勢は下げ止まりから再び悪化に転じている。

## 6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	お客様の様子	・ホテル、旅館、レストランなどの大口需要先からの注文が好調で、特にホテルのパーティー用が多く出ている。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・1か月ほど前から、季節先取りの高額フルーツが売れている。 ・低価格商品を求める客と高価格商品の購入客がはっきりと分かれており、中間層の客が減少している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・毎月減少していた来客数が若干ではあるが増加してきた。
		家電量販店（経営者）	それ以外	・大型高画質の液晶テレビやプラズマディスプレイ、高画質のデジタルカメラ、大型カラー表示の携帯電話など高性能の新製品は大変よく売れている。一方、パソコンは夏モデルの価格が上昇したこともあり、売行きは代わり映えしない。いずれにしても、良い商品があれば必ず売れるという良い傾向になっている。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・6月の販売受注実績は3月または4月と比較して2割程度増加している。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・客は7月のバーゲン待ちの状態である。また、天候も梅雨に入り、客足が若干停滞気味である。
			一般小売店〔鮮魚〕（店長）	単価の動き
		百貨店（売場主任）	単価の動き	・客の購買態度は一品単価に非常に敏感で、高額商品だけでなく、バーゲン商品についても厳しい目で買物をしている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・今月の前半は気温の上昇もあり、衣料品を中心に一時的に動いていたが、後半は伸びが悪い。住関連商品など急いで買わなくてもよいものは購入しない傾向が強い。また、食品も1人当たり買上点数が伸びないため、客単価が上昇しないという状況が続いている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・買上数量、買上単価は前年比97%程度であるが、来客数は前年同月とほとんど同水準になっている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・商品の動きは変わらないが、客の動きに変化が見られる。イベントやビッグセールではバーゲンハンターといわれる特売で動く客が非常に増加しており、平日の通常客と違う顔ぶれが多く見られる。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・客の来店頻度、客単価、売上など、すべての項目で悪い状態が変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・ヤングのブティックで提案型の商品を増やしたいと考えても、実際の客の買上商品はオーソドックスなものを中心となっている。
		乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・客は価格限定車やキャンペーン試作車以外に動かない。
		住関連専門店（店長）	来客数の動き	・平日の来客数は相変わらず少ないが、土、日曜日では若干回復傾向が見られる。ただし、昨年同月を超えるまでに至らず、同程度である。
		その他専門店〔医薬品〕（営業担当）	お客様の様子	・客の様子をみると、生活にどうしても必要なニーズ用品はより安い商品を買う、一方で生活を豊かにする商品や自分の趣味に対しては高くても買うというように二極分化している。
高級レストラン（スタッフ）		販売量の動き	・大河ドラマの影響で、団体旅行による利用客数は例年よりも多いが、単価が低下しているため全体の売上は変わらない。	
一般レストラン（店長）	販売量の動き	・売上は前年同月や3か月前との比較でもほとんど変わっていない。昼の売上は若干良くなっており、夜の多少悪い分をカバーしている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スナック（経営者）	来客数の動き	・例年の3～4月は異動時期、6月はボーナスシーズンでそれぞれ書き入れ時であるが、今年はいずれも85%程度で推移している。客からも「トンネルの中で右往左往している」「ゴルフもできなくなった」など暗い話が多い。また、会社役員の動きが活発になり、土曜日の営業会議、戦略会議が各社で定着化している。
		観光型旅館（経営者）	単価の動き	・6月は来客数が増えたものの、客単価が低迷している。
		競輪場（職員）	単価の動き	・この3か月間の売上は低水準で安定している。客の車券の買い方は、1目100円台単位の小口化が目立つ。この現象は少額投資で高額配当をねらうためか、あるいは客の懐が寂しいためである。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・大型物件は少ないが、一方でリフォーム物件が安定し、増加傾向にあるため、量的には変わらない。
	やや悪くなっている	住宅販売会社（従業員）	単価の動き	・受注競争はますます激化している。各社とも単価の非常に安い商品で客と折衝しており、価格競争は一層激しさを増している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街の客は車を保有していない若者ばかりで、年配者が減少している。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・6月の買上客数は前年割れとなっており、この傾向は止まっていない。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・毎日使う商品はそれなりに売上が上がっているが、特にシーズン商品といわれるサンダル、水着、浴衣などの動きは非常に低迷している。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・購入する意図を持って来店される客も、商品が決まるまでの時間が非常に長くなっている。試着を何回も重ねたり、他の店を見て回ったり、1点の買上に長い時間がかかっている。
		自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの開催時期は来客数が非常に減少している。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・観光客の増加に伴い、宿泊部門は前年を上回る見通しである。また、サッカーワールドカップ観戦により利用客が減少したレストラン部門並びに、婚礼宴会の1件当たり売上高の減少、大型宴会の減少や中小宴会の大幅減少などの影響を受けた宴会部門は減収となり、全体としては前年を下回る見通しである。
		都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・宿泊部門の単価の低下が続いており、稼働率は確保しているものの、売上は減少している。レストラン部門では、和食や中華に単価の下げ止まり感がみられるが、洋食は引き続き単価が低下している。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・サッカーワールドカップの影響で、団体旅行が前年同月比で40%減少している。
悪くなっている	美容室（経営者）	来客数の動き	・先月までは客単価が若干低下していたが、今月後半から来客数も若干減少傾向にある。	
	設計事務所（職員）	競争相手の様子	・種々の引き合いが出ているが、いずれも手持ち設計量の減少から低価格競争が一段と進み、より厳しい受注が強いられている。	
	家電量販店（店長）	来客数の動き	・近隣競合店の開店の影響が大きい。更に気温が上昇せず、季節商品が不振になったため、来客数が大幅に減少している。	
	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・フリー客が少ないため、連日昼も夜も空きテーブルがみられる。入居ビル全体に対するイメージが暗いせいか、ビルの中の客数も少なく感じられる。	
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・買上単価の低下は微減にとどまっているが、来客数が前年同月比で7～8%減少し、総売上も10%近く減っている。要因としては観光コースが金沢のイベントに流れ、団体の立ち寄りが減少していることに加え、個人、グループの来客数も減少していることが挙げられる。	
	企業動向関連	良く なっている	-	-
企業動向関連	やや良く なっている	食料品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・販売単価は変わらないが、受注量が前年同期の105%と伸びている。
	変わらない	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・低価格競争が続いている。また、小ロットではあるが、高品質商品に受注の動きが出ている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		化学工業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・ハップ剤市場でにおいのないタイプが大変伸びている。従来品との差別化により価格が安定し、大変収益も上がっている。パソコンの使用などによる肩こりが増えているため、若い人を中心に使用者が増加し、新しい市場の創出が行われている。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・特に大きな変化はない。北米市場はほぼ変わらず、欧州市場はやや強含みであるが、ほとんど変わらない。また、国内はやや悪くなっている。
		建設業（総務担当）	競争相手の様子	・特に北陸3県の民間建築工事量の減少に伴い、赤字受注と思われる入札価格の競争がエスカレートしている。
		不動産業（営業担当）	取引先の様子	・不動産の売買において、隣接地など必要度の高い物件については従来以上に成立する方向に向かっているが、まだ全体の底上げにはなっていない。
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・新聞折込チラシの申込件数は前月同様低迷したままであり、前年同月比では90%を若干超える程度である。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・取扱件数は増えているが、住宅、分譲マンションがほとんどで、企業関係の物件がまだ増加していない。
	やや悪くなっている			
	悪くなっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社が主体としている舗装工事の受注量は、4～5月の県、市からの分がゼロとなっている。これは当社に限らず、同業他社でもほとんど同様の状況である。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・今月の求人広告は県外からの出稿が増加し、前年実績を超えている。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告は前年の80%程度で、相変わらず良くない。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・企業整備の件数や人数が今月に入って減少している。特に昨年まで多かったIT関連企業での発生に落ち着きが出てきている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・今月は求人数及び求職者数も落ち着いてきたように思われる。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・人材派遣会社の受注は例年4～6月に減少するパターンであるが、それを考慮しても新規の受注はあまりにも少なく、数件にとどまっている。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人票の到着件数は4～6月の前年比較で県内が6%減少、県外が15%減少となっており、回復の兆しが全くみえない。
	悪くなっている	-	-	-

## 7. 近畿（地域別調査機関：（株）大和銀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	スーパー（企画担当）	販売量の動き	・地場産業である梅関連商品の値上がりにより、地元の人々の購買単価が上昇している。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・今月は全般的に堅調であるが、その要因として、梅雨時の割に営業時間中の雨が少なかったこと、サッカーワールドカップ開催による内食傾向、の2つが考えられる。
		衣料品専門店（営業・販売）	単価の動き	・安いスーツが売れず、比較的高額なスーツが多く売れるようになってきている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・6月初旬の気温の上昇によるエアコンや、サッカーワールドカップによる大型テレビのように、何かきっかけがあれば良い物が売れる傾向にある。
		乗用車販売店（営業担当）	単価の動き	・これまで平均単価は200万円を切っていたが、最近では1台当たり250万円となっており、400万円を超える新型車も非常に良く売れている。
		観光型旅館（経営者）	単価の動き	・3か月前と比較し、来客数は増加し、客層も幅広くなっている。 ・客はみやげ等の買物を控える様子もなく、客単価も上向きである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
変わらない		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊客数が3か月前より増加しているが、その要因としてはサッカーワールドカップの影響が考えられる。
		その他住宅[情報誌]（編集者）	お客様の様子	・新築マンションの供給予定数が、時を経るにつれ上昇傾向にあり、2002年内の関西圏新築マンションは前年並に近づきつつある。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・サッカーワールドカップの影響により、客が家に閉じこもって出てこず、期待した数字は上がっていない。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・人通り自体が減少気味である。	
	一般小売店[衣服]（経営者）	単価の動き	・3か月前と同様、手の出しやすい値ごろな商品が売れる傾向にある。	
	一般小売店[野菜]（店長）	販売量の動き	・相変わらず安い品物だけが少し売れる状況で、全体的な購買力が上がっているとは感じられない。	
	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・婦人服関連では、前半は天候不順、後半はバーゲン前の買い控えがあり、消費者ニーズをあおった商品の提案ができなかったことや、売れ筋ヒット商品が現れていないことが、不調の原因として考えられる。	
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・バーゲン待ちの客が多い。 ・特選商品の売上の落ち込みが顕著に出てきている。	
	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・外商の客に関して、宝石、絵画等は売れているが、客は買物に慎重で、趣味に合わないものは買わない。	
	百貨店（営業担当）	それ以外	・中元ギフトは早期割引で30%上昇している。 ・買上げ比率は0.5%上昇しており、中元等の目的買いの客が増加している。	
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・依然として、高額品については購入が少なく、慎重な購買姿勢である。	
	スーパー（経営者）	販売量の動き	・水産、農産物の相場上昇により一品単価の下落は下げ止まる傾向にあるが、買い上げ点数は減少気味であり、買い上げ単価は横ばいかむしろ下落傾向にあり、生活防衛の様子がうかがえる。	
	スーパー（経理担当）	単価の動き	・来客数は若干減少しているが、青果物の相場の上昇があり、客単価は若干上昇している。	
	スーパー（経理担当）	お客様の様子	・依然、客の購買動向からみて大きな変動はなく、安い商品を買ひ、不必要な商品は買わないという傾向が顕著である。	
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・公共工事関係の減少に伴い、工事従事者の来客が極端に減少している。 ・サッカーワールドカップの影響で来客が極端に減少している。	
	家電量販店（経営者）	お客様の様子	・普及型の商品に関しては、故障でもしない限り購入しない。また、購入しても単価が下がっているため売上は上がらない。一方で、プラズマテレビ、液晶テレビなどが売れており、普及型商品の低迷を補っている。	
	家電量販店（経理担当）	販売量の動き	・パソコンは相変わらず低迷しているが、テレビはサッカーワールドカップの影響で好調である。エアコンは6月初旬は好調であったが、天候の影響で勢いが落ちてきている。	
	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・今年は新車のモデルチェンジの年であり、新車効果でなんとか来客数、販売量を維持している。	
	自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・引続き客の購買意欲は低調で、目的買いの域を脱し得ない。バーゲン期間中のみ来客数が増加する傾向で顧客の懐具合も相変わらず厳しい。	
	その他飲食[コーヒーショップ]（店長）	来客数の動き	・来客数と客単価の数字は、3か月前と変わっていない。	
旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・海外を中心とした高単価商品が動かず、単価下落が目立っている。		
タクシー会社（経営者）	来客数の動き	・駅で客を待っていても客は並ばず、タクシーの利用回数は回復していない。		
通信会社（経営者）	競争相手の様子	・ネット広告の単価が同業と比べても厳しい状態であり、なかなか受注までつながっていない。また、東京と大阪の業者を比べた場合、大阪の業者よりも東京の業者の方がまだましだということに地域差がかなり出始めている。		
通信会社（社員）	単価の動き	・新機種が登場し、動きがあるようにも感じるが、商品単価が下がっただけの効果だと思われる。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		通信会社（社員）	単価の動き	・ブロードバンドサービスの浸透に伴い、次から次へと新規のサービス方式が生まれてきている。同業他社の対応速度が遅いため、1社の規模での展開では、限界が見え始めている。
		遊園地（経営者）	来客数の動き	・若年層の遊園地離れが激しい。
		観光名所（経担当）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響かどうか判別できないが、来客数は前年を少し下回っている。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・単価を下げなければ来客数を確保できない状況である。
		その他レジャー施設（企画担当）	来客数の動き	・サッカーワールドカップは、レジャー業界にとってはマイナスである。ただし、試合のない日などは特に影響なく、後を引くことはなさそうである。
		その他レジャー施設【イベントホール】（職員）	販売量の動き	・ホール使用者について、リピーターの使用はあるものの、新規の利用者はあまりない。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・自分でカラーをする客が増加し、複合メニューも減少している。
		美容室（店員）	お客様の様子	・来店サイクルが開き、平均1.5か月伸びている。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・建築費用総額が減少し、設備機器も必要最低限度のものを希望する客が増えてきている。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・分譲マンション販売につき、販売センターへの顧客来場状況が3か月前と比べて改善されていない。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	それ以外	・サッカーワールドカップ開催中は通行客が極端に少なくなる。今年は例年に比べて雨が早く、人の引きも早い。
		一般小売店【酒】（経営者）	販売量の動き	・得意先は押しなべてサッカーワールドカップの影響を受け、夜間の売上が非常に落ち込んでいる。
		一般小売店【家具】（経営者）	お客様の様子	・サッカーワールドカップの影響が悪く出ている。
		一般小売店【時計】（経営者）	単価の動き	・来客数は横ばいで変わらないが、売上は減少している。生活に最低限必要な物で、より安い物を求めている。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響が裏目に出て、来客数が減少している。午前中の出足が遅く、夕方の引きが早い。滞留時間が短いため、客単価を上げることが難しい。また購買意欲も勢いに欠けている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・サッカーワールドカップの影響が大きく、来客数は前年を下回り、これまでますます推移していた婦人服の売上も大変厳しい状況である。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・宝飾、時計などの高額品には動きがみられるが、それ以外は買い控えが強く、購買に至らない。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・天候の悪さ、サッカーワールドカップによる影響で、来客数がかなり減少している。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・サッカーワールドカップの影響は消費には結びつかず、街は浮き足立っているが、高額品、ブランド品は反比例して動いていない。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・7月のバーゲンを待つ客が例年以上に多く、消費は下向いている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・家族向けの優待販売会等を継続してやっているが、必需品しか売れない状況にある。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・客の買物の様子からみて、ぜいたく品、嗜好品的なものが全く売れず、安くて、ボリュームがあって、美味しい、という3点揃った物でないと買ってもらえないという厳しい状況が続いている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響かどうか定かではないが、最近安定していた来客数が今月は減少している。
その他専門店【医薬品】（店員）	お客様の様子	・来客数が減少し、当日買いの客が多いなか、購入の品目数が減少し、客単価が低下している。		
スナック（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響が来客数は少なかったが、日本が負けてからは以前の状態に戻っている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で外に出る客や観光客が減少している。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・本来6月は客の動く月であるが、今年はサッカーワールドカップに集中したためか、来客数が極端に少なくなっている。
		都市型ホテル（支配人）	販売量の動き	・個人部門の動きには大差ないが、法人部門が低調である。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・6月は特殊要因としてサッカーワールドカップがあり、観光客、ビジネス客ともにほとんど動いていないという過去にない状況が起こっている。単価を下げて来客がない状態が、宿泊、レストランともにみられる。
		旅行代理店（店長）	販売量の動き	・6月に入り、国内旅行はサッカーワールドカップの影響を受け、受注が伸びていない。来客数もファミリー、OLを中心に減少している。 ・海外旅行は本来ならば夏の受注シーズンのピークであるが、週末以外は客も少なく、特にOL層の海外旅行需要が低迷している。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・国内旅行は前年実績を超えたが、海外旅行は前年比60%まで落ち込んでいる。全ての客層にわたってみられた傾向であり、サッカーワールドカップの影響ではないと考えている。
		旅行代理店（広報担当）	お客様の様子	・サッカーワールドカップの影響もあるのか、夏休みの旅行の申込等の動きが全くない。店頭へも来客がなく、電話での申込もない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・ホテル等の来客数が減少しており、サッカーワールドカップの影響も特にない。
		タクシー運転手	単価の動き	・今年2月に料金等の規制緩和が実施され、業界各社それぞれが個別に料金等の申請をし、自動認可と個別審査認可が先月末ごろより下りている。遠距離割引料金設定など価格破壊的な料金設定をすることも現れて、その影響はすぐに遠距離客の高割引料金設定会社選びという形で表面化してきている。
		競輪場（職員）	来客数の動き	・競輪の開催日が平日であったうえ、天候不良で、レートの低い普通開催であったため、売上はやや悪くなっている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・客の来店頻度が目にみえて減ってきている。
		その他サービス【クリーニング】（経営者）	販売量の動き	・前半は良いペースで推移していたが、天候不順の影響もあってか、中旬頃より頭打ちとなっている。日によっては朝夕の肌寒ささえ覚える不安定な気温変化により、夏物、合物の品受けが一緒になるというイレギュラーな状態となっている。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・平日の客は皆無で、土、日など週末の来客数が10件を超えていない。
	悪くなっている	商店街（代表者）	単価の動き	・依然、来客数が減少しており、今まで多少売っていた高額商品の売行きもびたりと止まって、今まで以上に客の買物は慎重になっている。
		一般小売店【文具】（経営者）	来客数の動き	・客は若い層が多いが、そのなかで低年齢の客が減少している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・今月後半は温度が低く、温度差が激しいため、季節的な種類の動きが悪い。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・巷ではサッカーワールドカップで盛り上がっているが、一般人の日常生活はますます厳しくなっており、今月は中旬以降特価品が1日に1、2点しか売れないようなどん底の状態である。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・販売量が極端に落ち込んできている。流動的な客がほとんどで、一定の基準で購買行動をとる客が、全く物を購入していない。
		その他専門店【宝石】（経営者）	お客様の様子	・従来の販売促進の方法を変えて、買取り、下取りを中心に広告を打っているため、買取は好調であるが、販売の方は振るわない。
		観光型ホテル（経営者）	販売量の動き	・3月頃から4か月連続で対前年比を割っている。特に今月はサッカーワールドカップの影響で団体客の動きが悪い。
		都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・サッカーワールドカップの宿泊客の伸びは思ったより少ない。レストランもテレビ観戦により来客数が少なく、売上は大幅に減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		都市型ホテル (副総支配人)	販売量の動き	・宿泊は、U.S.J効果が大幅に薄れ、サッカーワールドカップの出控えが大きく影響し、厳しい状況にある。 ・宴会は一般、婚礼とも件数が減少し、業績は悪化している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・規制緩和の新料金が認可され、様々な料金が出てきている。今までの客も料金の安いところへ利用を替えるなど、客数が減少している。
		通信会社(社員)	販売量の動き	・市場全体が落ち込みつつあることと、新商品を出ず谷間の時期であることが重なっている。
		その他住宅[展示場](従業員)	お客様の様子	・住宅展示場への来場者数に目立った減少はないが、見込み客と呼ばれる早期住宅取得者が減少傾向である。様子見客が増えているのが現状で、出展メーカーの営業効率が益々悪化している。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	金属製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・夏場の改装工事物件の受注が順調に推移してきている。
		金属製品製造業(団体役員)	取引先の様子	・ユーザーおよび商社の在庫調整が進んでいる。
	変わらない	出版・印刷・同 関連産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・同業者から、下請けで仕事を回して欲しいという依頼がはっきりなしにあるが、当社も仕事量が足りず、苦しい状況が続いている。
		金属製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・IT関連以外の特殊な製品については低位安定しているが、IT関連は激減したままで、一般製品は未だに価格、量ともにダウンしている。
		電気機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・パソコンの需要台数の伸びがあまりなく、むしろ消費者のパソコン購入は鈍化している。
		電気機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・取引先の生産量は増加の傾向にあるが、設備投資まではいかず、非常にシビアな状態である。
		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・相変わらず、住宅販売におけるチラシ投下による集客率が非常に悪い。
		金融業(支店長)	取引先の様子	・資金の動きの中で投資に対する意欲はあるが、投資対象が見当たらない。
		不動産業(経営者)	それ以外	・土地取引において、一等地とそうでないところの差が激しくなっているが、その反面、物件の買い意欲が各社旺盛で、一等地以外の場所に対する需要も伸びつつあると実感する。
		不動産業(経営者)	取引先の様子	・3か月前と比べ、建売住宅、分譲マンションの土地取得意欲は変わっていない。しかし、価格面で将来の地価下落の恐れがあり慎重である。
		広告代理店(従業員)	取引先の様子	・ほとんどの取引先の売上が低迷しているため、広告宣伝費はますます抑えられる傾向にある。
		コピーサービス業(従業員)	受注量や販売量の動き	・数が月前に比べ、15%売上が減少しており、大口顧客の広告代理店等の受注量が伸び悩んでいる。
	その他非製造業[衣服卸](経営者)	受注量や販売量の動き	・このところ、季節商品の早めの展開も効を奏していたが、小売店では思ったほど売れないため、店頭在庫が増大し、買い疲れから今月の仕入は抑えてきている。サッカーワールドカップの影響で歩いている消費する人が少なくなっている。	
	やや悪くなっている	窯業・土石製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・ピンの生産受注が減少しており、末端で売れていない。観光地のみやげ物などにピンが使われているが、その観光客が減少し、売行きが悪い。
		金属製品製造業(営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・原材料の値上げが打ち出されているが、受注が少なく、製品に転嫁し値上げをする状況にない。また、競争相手からも値上げの様子が伺えない。
		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注価格に関して、以前のように無理な安値で受注する会社は少なくなったが、設備投資が上向きにならないために民間工事も工事量が少なく、相変わらず厳しい状況が続いている。
輸送業(経営者)		受注量や販売量の動き	・住宅関連等の大口顧客からの受注量が減少しているうえに、価格交渉で受注価格も低下している。	
輸送業(営業所長)		受注量や販売量の動き	・輸入貨物の配達が増減しており、空車になることが多い。	
不動産業(営業担当)		取引先の様子	・賃貸マンションの動向では、新婚夫婦が一番良く借りるなど、6月は動きがある月の一つであるが、新婚向けの物件がほとんど動いていない。	
	その他サービス業[イベント企画](経営者)	取引先の様子	・新規案件の発生ペースが落ちている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪くなっている	その他製造業 [ゴム製プラスチック製履物] (団体役員)	受注量や販売量の動き	・流通段階での不安が最近顕著になってきており、問屋の倒産等の問題が発生し、それが波及する恐れが懸念される。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・サービス業を主体として求人、採用者数ともに増加している。
		民間職業紹介機関 (支社長)	周辺企業の様子	・大量採用の動きはないが、1名採用企業が増加傾向にある。
	変わらない	人材派遣会社 (経営者)	採用者数の動き	・依然として求人数が増加しているが、採用数は微妙な段階にきている。特にIT分野では、顕著な価格の低下がみられ、採用件数にも若干かげりがある。
		人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・求人数そのものは増加傾向にあるが、ほとんどが短期的な受注である。
		求人情報誌製作 会社(編集者)	周辺企業の様子	・求人募集の広告枠が経費削減により低下し、出稿頻度は鈍化している。個別部署募集からグループ募集に変更する企業が増えている。 ・サッカーワールドカップを自宅で観戦する人が多く、飲食店の売上は減少し、採用も抑制されている。
		職業安定所(職 員)	求職者数の動き	・新規求人増加幅よりも、新規求職者の増加幅が依然として高水準で推移している。
	やや悪くなっている	学校[大学] (就職担当)	周辺企業の様子	・新卒者の採用時期は、企業規模が大きいほど早期化し、採用基準のハードルも高い。優秀な学生は、複数企業から内定を獲得しているが、未内定者も過半数あり、二極化現象が起こっている。
		新聞社[求人 広告](担当者)	求人数の動き	・求人者数が伸び悩んでいる。
		職業安定所(職 員)	求職者数の動き	・求職者の増加が有効求人倍率を引き下げている。
悪くなっている	学校[大学] (就職担当)	採用者数の動き	・採用企業の内定出しに時間がかかっており、企業側も景気動向に敏感になっている。	
	-	-	-	-

## 8. 中国(地域別調査機関:(社)中国地方総合研究センター)

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	競艇場(職員)	来客数の動き	・今月中旬より新しいスタンドがオープンしたこと、今月25日から30日まで、全国発売の大きいレースを開催しているため来客数がかかなり多くなっている。
	やや良くなっている	商店街(代表 者)	お客様の様子	・衝動買いはほとんどないが、多少欲しい物は買うといった客の様子がある。
		一般小売店[印 章](営業担 当)	販売量の動き	・これまで低価格商品以外には動きが少なかったものが、個人の実印の注文などに動きが出てきている。
		百貨店(営業企 画担当)	お客様の様子	・世の中の動きが良くなってきたことに加えて、当店が閉店セールを開催していることから、客の財布のひもが緩くなっている。 ・客が当面必要がないと思っている物でも、その場の雰囲気商品を買っている。
		百貨店(売場担 当)	来客数の動き	・ヤング系は非常に好調であるとともに、ミセスはサンダルなどセールの買い控えなどがなく、ヤング以上に売上が伸びている。
		スーパー(店 長)	販売量の動き	・1人当たりの買上点数が増加しているのと同時に、来客数も増加している。
		スーパー(店 長)	単価の動き	・買上点数が0.2ポイント、客1人当たりの買上金額が35円上昇している。
		スーパー(店 長)	来客数の動き	・客の買上単価は例年並みで推移しているが、来客数は例年と比べて106%で推移しているため、トータルの売上は例年と比べて105%と好調に推移している。
		スーパー(店 長)	来客数の動き	・来客数が増加しており、食品を中心にやや改善傾向が見られる。
		スーパー(経 理担当)	お客様の様子	・不況の節約の反動で少し上向いている。
乗用車販売店 (所長)		販売量の動き	・新型車が5月、6月と相次いで出たために、販売量が例年の130%に上昇している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・サッカーワールドカップ開催で、来客数が日本戦の日には減っているものの、それ以外の日には増えている。
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・サッカーワールドカップの影響で、レストランで外国人の来客数が増加している。
		テーマパーク（広報担当）	来客数の動き	・相変わらず団体客は減少傾向にあるが、個人客の増加がそれを補っており、全体の来場者数は例年より微増している。
		住宅販売会社（経理担当）	販売量の動き	・各モデルルームへの来場者数は依然として低迷しているが、契約戸数が増加しており、高額物件の契約も出るようになっている。
	変わらない	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・客はいくら安価であっても、その価値を認めた必要最小限の品しか購入しない。
		百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・来客数は例年並みをクリアしてるが、客単価は4～5%のマイナスである。 ・客の単品購買志向が顕著である。
		百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・一般の食品等の単価が下がってきて、販売額が上がりに切らない。逆に青果物やTシャツ等については販売額が上がっており、トータルでは現状維持をしている。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・今月末よりクリアランスセールが始まるということで、客の買い控えがかなり目立っており、それを防ぐために秋物を展開しているが、例年以上にそれを求める客が少ない。
		百貨店（売場担当）	来客数の動き	・今月の中旬まではそこそこで推移していたが、中旬以降来客数の落ち込みが激しく、定価販売が厳しい状況にある。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・青果物の単価が上がってきているが、ビールから発泡酒へのシフト等、安価な物への移行が定着しており、客単価が上がらない。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・客はうまく店を買いきりしており、来客数が近隣の競合店の販促、イベント等で左右される。
		スーパー（店員）	お客様の様子	・広告売り出し初日の買物、もしくは広告商品のみの買上が目立つ。
		スーパー（店員）	単価の動き	・来客数は例年に比べ増えているが、客単価が上がらないので、売り上げ自体は変わらず横ばいである。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・客は品物を吟味して買う傾向が強く、リーズナブルな物を求める傾向がある。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・サッカーワールドカップで客の動きに変化がみられ、来客数が増加したが、あくまでも一時的なものに留まっている。 ・買上単価はいまだに下げ止まっておらず、上向きの傾向には至らない。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・来客数は例年並みでずっと維持しているが、客の買上個数がずっと縮小したまま続いている。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	単価の動き	・客の低価格志向は変わらないが、価格全体が低くなっており、落ち着きが出てきている。 ・父の日プレゼント等での購入が多くなり、プライダ関連もよく動いている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・季節商品などは動きが良いが、パソコンを含めた他の大型商品の売行きが良くない。
		自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・例年だと6月中旬からボーナス商戦に入り、来客数が4月、5月より大幅に増加するが、今年はその盛り上がり欠け若干の増加しかない。 ・サッカーワールドカップの影響で客足が伸びない。
		パチンコ店（企画担当）	来客数の動き	・サッカーワールドカップで良い影響、悪い影響ともあまり受けていないが、全体的にここ数か月間の動きとして、来客数に変化がない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	それ以外	・商店が2店閉店になり、商店街に集客力がなくなってきた。	
	一般小売店〔茶〕（経営者）	お客様の様子	・来客数は多いが客の購買力がなくなってきた。 ・客は店に楽しみには来ているが、普段の物を適当に買う程度で、それ以外は買って行こうという意識がないため、直接売り上げに結び付かない。	
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・今月については、ワールドカップの影響で、日本が勝ったときには午前中は非常に良い売行きだが、3時以降は客足が鈍り、非常に売上に影響が出ている。	
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・客単価変化はないが、来客数が大幅に減少している。特に紳士関連への来客数が際立って減少している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・小型車は販売数が上昇しているものの、来客数が大幅に減っている。	
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・例年に比べて来客数、販売数ともに少し低下している。	
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・販売台数が山口県全体で例年を下回る数値で推移している。	
		その他専門店 [カメラ]（地域ブロック長）	来客数の動き	・商品の売れ筋が大きく変化し、今までとは違った物が売れ始め、客層にも若干の変化が出ている。そのため客の流れも変わって、来客数に大きく響いており、担当地域はすべて不振を極めている。	
		高級レストラン（スタッフ）	単価の動き	・来客数に変化はないが、飲み放題パックが低価格の設定に移行している。	
		一般レストラン（営業担当）	来客数の動き	・客の来店頻度が減少している。 ・夜の集客が厳しい状況下で、サッカーワールドカップは飲食店にとってマイナス要因になっており、それに連動した企画を行ったものの、効果が出せずに終わっている。	
		旅行代理店（団体営業担当）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響から客足が非常に弱まっている。	
		タクシー運転手	お客様の様子	・サッカーワールドカップがあったため、試合によっては夜の繁華街が非常に暇になり、売上が大きく低下している。	
		タクシー運転手	単価の動き	・公共交通機関に乗り換える客が増えているため、1回当たり単価が低下している。	
		ゴルフ場（従業員）	単価の動き	・少しでも安い物に客が動く傾向が、ますますひどくなっている。	
		レジャー施設（営業企画担当）	来客数の動き	・日帰り温泉部門はサッカーワールドカップの影響などから、来客数が例年より1割減少している。 ・客層では年配層は変わらないものの、中年層、若年層の入館数が減少している。	
		悪くなっている	家電量販店（店長）	販売量の動き	・エアコンの売行きが悪く、A V関係の売上は最悪である。
			その他専門店 [書籍]（店員）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で、来客数が減少している。
			スナック（経営者）	競争相手の様子	・サッカーワールドカップの試合がある日は、来客数が大きく減少している。
都市型ホテル（従業員）	来客数の動き		・来客数も減少しているが、客のオーダー単価も下がっている。		
都市型ホテル（営業企画担当）	来客数の動き		・例年より県内の観光客、宿泊客とも明らかに減少しており、特に日曜日、月曜日の落ち込みが激しい。サッカーワールドカップの影響もあるものの、これといった特定の理由は見当たらない。		
旅行代理店（経営者）	来客数の動き		・サッカーワールドカップの影響で、客の動きが非常に良くない。		
タクシー運転手	お客様の様子		・農繁期とサッカーワールドカップとが重なり、タクシーの売上は最悪の状態である。		
企業動向関連	良く なっている やや良くなっている		-	-	-
		非鉄金属製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・販売価格は低迷したままであるものの、受注量、販売量は徐々に回復してきている。ユーザーの動向からも一時のIT不況からは脱しつつある。	
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・急速に受注が回復しており、例年の150%の受注量になっている。	
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・販売好調による製造部門の人員不足により、販売及び管理部門からの応援を実施している。	
		建設業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・今まで様子眺めをしていた食品会社やサービス関係の会社が、生産ラインの増強やサービス施設の更新の前準備として設計業務を依頼してきている。	
	変わらない	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・有機化学品、樹脂などは依然として需要が低迷している一方で、電子材料は若干需要が回復し、化学品は一部需要の伸びがあり、回復の感があるものの、現状ではその効果が出てきていない。	
		窯業・土石製品製造業（統括）	受注量や販売量の動き	・IT関連業界は在庫調整が進展により市況が回復しており、受注量も上昇しているが、鉄鋼業界では市況回復がみられず、受注量の大幅減が続いている。 ・同業他社との競争が激化し、販売価格の著しい下落を招いている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		電気機械器具製造業（広報担当）	受注量や販売量の動き	・受注量の確保でき、部品については好調が維持できているが、完成品については低迷している。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・下がったところから急激な低下もないが、今のところ改善の見通しも全くない。
		建設業（営業担当）	競争相手の様子	・競争見積りで以前より無理した金額が出なくなっている。
		輸送業（総務担当）	取引先の様子	・大幅な値下げを行っており、状況は悪いままで変わらない。
		輸送業（総務担当）	取引先の様子	・取引先で倒産するところが続いている。
		輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・既存の取引先からの出荷量、受注量が落ち込んでいる一方で、新規客の開拓で売上は例年と比較して増加している。
		通信業（社員）	受注価格や販売価格の動き	・受注の際に原価ぎりぎりのところまで価格を下げられ、ときには赤字覚悟で受注する状況がまだ続いている。
		通信業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・低価格インターネットの普及も影響し、企業インターネット構築等の提案折衝において、品質や性能より当面は価格優先との傾向がまだ根強い。
		金融業（業界情報担当）	取引先の様子	・取引先の多くが受注量がほぼ横ばいで、受注単価は低下している状況にあるが、コスト削減により採算を確保している。
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・取引先の状況が上向きになっている。
		広告代理店（営業担当）	競争相手の様子	・6月始めに広告会社が倒産したことにより、CMを流していた放送局で1億円以上の損金が発生し、チラシ、電波を中心に展開している代理店はさらに淘汰される状況にある。
やや悪くなっている		食料品製造業（総務担当）	取引先の様子	・取引先からの電話が少なくなっている。開発や生産に対する委託の知らせが少なくなっている。
		金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・売上が3か月前と比べて低いままである。
悪くなっている		-	-	-
雇用関連	良くなっている		-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・3か月前は企業の絞り込みがきつい傾向にあったが、現在は若干求人の引き合いが増えてきている。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	雇用形態の様子	・人材派遣はオフィス関連の需要が低下傾向にあるが、製造業における生産が回復傾向にあり、アウトソーシングによる求人が活発になってきている。 ・雇用は職種によって強弱感があり、全体としてあまり変わらない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・人に対する企業の投資というところで、コストセーブ、欠員補充停止、新規採用停止の動きがずっと続いており、広島県において特にこれ以上悪くなる傾向にはないが、上向きになるという状況にはない。 ・雇用形態が正社員から非正社員に著しく移ってきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・わずかながら動きが出始めた求人広告は、6月になってまた動きが止まっている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規休職者の上昇が依然続いている。 ・試験による就職に関して採用にならないケースが増加している。
	やや悪くなっている	民間職業紹介機関（職員）	それ以外	・企業の採用に対する姿勢がより慎重になっており、その現象の一つとして、採用に至るまでの面接回数が1回増えるようになってきている。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・求人数の減少傾向が続いている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・小売店で社員が解雇され、パートに切り替えられている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・電気部品製造業と建設業での求人数の落ち込みが大きく、有効求人倍率が過去最低水準で横ばいとなっている。
学校〔大学〕（就職担当）		採用者数の動き	・採用内定者数が例年と比べて減少している。	
	学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・採用数が伸びておらず、学生が就職で苦戦している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪くなっている	-	-	-

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連	良くなっている	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が対前年比で2ケタの増加をしており、しかも、先月より4ポイント増加している。サッカーワールドカップ開催中、家庭で食事をする機会が増えている。
	やや良くなっている	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・平日は厳しい状況が続いているが、土・日曜日は、子どもの店舗だけでなく、商店街全般に活気が戻ってきている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・沖縄、ディズニーランド、USJ等の国内旅行の相談件数が増え、契約件数も増加している。海外旅行についても、相談が多くなってきている。
		その他住宅〔不動産〕（経営者）	来客数の動き	・駐車場、事業用不動産の買い注文が増加している。
	変わらない	一般小売店〔酒類〕（経営者） 百貨店（営業担当）	販売量の動き	・飲食店経営の来客数が非常に落ち込んでいる。皆さんが、出費を控えているということを感じる。
			それ以外	・来客数は対前年比15%減、売上は7%減、客単価は15%増で推移している。中元商戦は、1依頼主あたりの件数、購入単価は前年並みであり、数年続いた減少傾向に下げ止まり感がみられる。夏のクリアランスは、雨天の影響から売上が前年実績を下回っている。そして、今回の特徴としては、クリアランスセールを待っていた客が多かったためか、紳士、婦人衣料ともに、まとめ買いする客が前年よりも増加している。
		スーパー（統括担当）	単価の動き	・来店数は増加傾向にあるが、客単価は対前年比95%程度で推移している。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・来客数は増加しているが、売上は横ばい状態である。酒については、主流がビールから発泡酒になっており、販売量自体も少なくなっている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・来客数は増加しているが、客単価が上がらないため、売上が伸びていない。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・冷蔵庫の販売台数は対前年比20%増加しているが、映像機器については、逆に減少している。全体的に前年並み程度である。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・目玉商品のみを購入する客と、ブランド品を購入する客とに2極化しており、全体としては、財布のひもが固い。
		やや悪くなっている	一般小売店〔中古書籍・CD〕（従業員）	販売量の動き
	一般小売店〔書籍〕（営業担当）		来客数の動き	・サッカーワールドカップの試合がある日は、店内に客が全くいない状態が続いている。
	百貨店（会計担当）		販売量の動き	・3カ月前は、いくらか消費に明るさがあったが、それ以後は、回復が全然みられない状況が続いている。
	スーパー（企画担当）		来客数の動き	・来店客数が対前年比1%減、客単価も2%弱減少している。
	スーパー（営業担当）		販売量の動き	・3月に改装したため、売上高は前年実績を確保しているが、月を追うごとに低下してきている。
	衣料品専門店（経営者）		来客数の動き	・今月はサッカーワールドカップがあり、特に日本戦、韓国戦などは客の動向が大きく変化して、我々の業種としては悪い方の影響があったと感じている。 ・6月後半の気温の低下が夏物衣料の需要に少し悪い影響があったのではないかと思う。
	衣料品専門店（経営者）		お客様の様子	・特に高級品については、購入態度が非常に慎重になっている。また、単品買いの傾向が強くなっている。
	乗用車販売店（従業員）		お客様の様子	・来客数はあまり変わらないが、購入にいたる客が少なくなっている。
観光型旅館（経営者）	来客数の動き		・最近、来客数が例年よりも大幅に減少している。	
タクシー運転手	お客様の様子		・ボーナスが出たにもかかわらず、飲みに出る人が少ない。また、昼間の病院通いの客も減っている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪くなっている	通信会社（総務担当）	お客様の様子	・通話料を削減しようとする行動がみられ、コストに対する意識がさらに強まっている。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	販売量の動き	・注文が減っている。また、1人当たりの購入点数も減っている。
		乗用車販売店（従業員） 都市型ホテル（経営者）	単価の動き 来客数の動き	・利益の少ない低価格品だけがよく売れる。高額品は、全く動かない。 ・宿泊、レストランの来客数は変わらないが、宴会、バンケットについては、規模がかなり小さくなっている。また、業界で低価格競争がますます激化している。
企業 動向 関連	良くなっている	化学工業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注見通しが1か月先まで明確になっており、先行生産が可能になっている。
	やや良くなっている	家具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・価格は相変わらず厳しいが、低価格品や個性のある商品については、荷動きが出てきている。
	変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	競争相手の様子	・競合相手先の再編や子会社化、また合併後の建て直しによる営業攻勢が活発化しており、自社の受注に影響が出てきている。また、法律改正の動きも流動的であり、状況好転の材料に影を落としている。
		輸送業（配車担当）	取引先の様子	・やや回復傾向にあると思うが、取引先からは、厳しい話ばかりが聞こえてくる。
		通信業（支店長） 公認会計士	受注量や販売量の動き 取引先の様子	・来客数、販売量ともに、相変わらず悪い状態が続いている。 ・取引先の決算状況を見ると、売上が伸びておらず、環境に変化がみられない。
	やや悪くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・見積件数が減少しており、得意先から、値下げ要請が強くなっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・見積をしても、得意先からその設備投資を中止するという案件が増えてきている。
		建設業（総務担当）	それ以外	・順調に売上げを伸ばしていたマンション業界においても、供給過剰感がみられるようになり、売れ残りが増えてきている。
		広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・特に新聞の求人広告の出稿は、10年前の2割ぐらいの水準になっている。また、費用対効果を追求するクライアントが増えており、新聞広告のボリュームの縮小につながっている。
	悪くなっている	食料品製造業（従業員）	それ以外	・食品関係の香料・農薬問題の影響から、売上が大幅に減少している。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・最近、優秀な人材を採用したいという動きが、非常に増えている。リストラが落ち着いたため、企業活動が活発化しており、景気が上向いている。
	変わらない	求人情報誌製作会社（従業員）	雇用形態の様子	・パート、アルバイト雇用が多く、正社員募集については、条件が厳しいか、または募集するとすぐに決まるため、その後の募集が途切れる傾向にある。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・小売業、建設業、製造業ともに、昨年よりも売上が落ちているという話ばかりを聞く。3か月前と比べ、改善がみられない。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者の増加が止まらない。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・派遣需要の主体であった事務系職種からの依頼が少なくなっており、安い賃金のパート、アルバイトの方にシフトする傾向がある。しかし、IT、SE、PC関係、あるいは営業職については、若干ニーズが出てきている。
	悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年度に比べて求人数の減少が著しい。
職業安定所（職員）		求人数の動き	・新規求人が11か月連続で対前年同月比でマイナスとなっている。特に、運輸、通信、建設業では3割を超える激減となっている。	

#### 10. 九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・空き店舗での出店計画が2、3店あり、やや動きが出てきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・6月前半は非常に厳しい状態であったが、早期ギフトの受注会とクリアランスの成績が良かった。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が増えており、客単価も昨年に近づいている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・父の日の商材がよく動いた。
		スーパー（企画担当）	お客様の様子	・客数は増加しているものの単価が落ちる傾向にあったが、先月以降に改善の兆しが見え、売上額が確保できている。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・牛肉が前年の85%まで回復したため、生鮮部門は増加している。しかし、添加物の問題以来、加工食品が前年割れになっている。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・中・高級婦人服と貴金属、高級時計が売れだし、量は多くないが、金額が高い商品が動き出している。
		家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・サッカーワールドカップの影響でテレビ関係がよく売れている。また、健康志向でマイナスイオン発生ドライヤーやエアコンなどの製品が売れているほか、IHクッキングヒーターやDVDも好調である。
		通信会社（業務担当）	競争相手の様子	・大手家電量販店がオープンしたことにより、激しい販売合戦が起こっているなか、当店ではむしろパソコンの需要ニーズが高まり、問い合わせ、売上共に増えている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・来場者数が昨年に比べ6%ほど増え、売上金額も昨年実績の4%増になっている。
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・同業者の設計事務所において、企画や計画など設計の依頼が増えている。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・土地を買った客の建築依頼件数が増えている。土地から買う客が少しずつ増えている。	
	変わらない	商店街（代表者）	単価の動き	・消費者は購買意欲が少しはあるようだが、単価が上がっていない。
	商店街（組合職員）	それ以外	・チラシの折込み数が以前に比べて減少しており、サイズも縮小し、内容もシビアになっている。	
	一般小売店〔青果〕（店長）	お客様の様子	・今月は野菜、果物共に豊作で、単価安であり、安い商品が売れているため、売上は変わっていない。	
	一般小売店〔茶〕（店長）	販売量の動き	・特殊な商品は良く売れるが、その他の商品はあまり売れないという二極化が進んでいる。	
	百貨店（売場主任）	競争相手の様子	・近辺のライバル大型店が閉鎖したままで、今月は商店街の専門店の閉店が4～5件発生している。厳しい状況は変わっていない。	
	百貨店（売場主任）	単価の動き	・クリアランスセールの前倒しなどで、客単価が下がっている。	
	百貨店（総務担当）	販売量の動き	・店舗を移転し、来客数は増加しているものの、客単価、購買率共に低下している。	
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・客が金額に対してシビアになっている。また、クレジットの金利負担率が変わったために、売上が大幅に減少している。	
	百貨店（営業担当）	それ以外	・紳士、カジュアル衣料などの動きがいまひとつ盛り上がり欠け、客の節約意識が依然として存在している。	
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・夏物クリアランスが売上、来客数ともに順調である。	
	百貨店（売場担当）	単価の動き	・来客数は購買単価、購買客単価ともに前年を下回っているが、購買率は先月に引き続き前年比増となっている。	
	百貨店（業務担当）	お客様の様子	・来客数は特に変化していないが、購買数や買い回りが減少しており、客の購買に対する慎重さは変わっていない。	
	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数、客単価、買上点数がほぼ一定になってきている。	
	スーパー（店長）	単価の動き	・来客数は前年の89%で推移しているが、客単価になると昨年の102%で推移しており、売上は昨年の100%並みとなっている。	
スーパー（店長）	販売量の動き	・衣料品や食料品等は先月に引き続き伸びているが、家電関係、特にエアコンや冷蔵庫等の季節商品が極端に落ち込んでいる。		
スーパー（総務担当）	単価の動き	・買上客数は前年を上回っているが、客単価が前年を下回っており、売上は前年を若干上回る程度である。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新たなファーストフード商品を導入するなど、客のニーズに合わせた売場作りを行っているが、来客数、客単価共に上がっておらず、厳しい状況が続いている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・客単価はややアップしているが、来客数は前年割れである。特に深夜の時間帯で来客数が激減している。また、サッカーワールドカップに伴い客数が増えると予想されたが、反対に減少している。
		コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・弁当、パンともに3か月前に比べて横ばいである。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・空梅雨の影響で夏物衣料が動くと思ったが、梅雨寒で依然売行きは不振である。冷夏が来ることを心配している。
		衣料品専門店（店員）	販売量の動き	・現在、夏のセールが始まったため、単価が2～3割ダウンしている。例年に比べると下見の客が非常に多く、実際にセールになってからも必要なものしか買わないという客がほとんどである。まとめ買いをする客が少なくなっている。
		衣料品専門店（商品担当）	お客様の様子	・生活必需品は値段によっては買われるが、アパレル衣料品は買い控えの傾向にある。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・受注件数が前年並でなかなか黒字にならず、ボーナスや給料に響き出している。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ランチバイキング等の客数が変わっていない。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・サッカーワールドカップが大分で開催されたが、外国のサポーターはフードショップや缶ジュース等を求める人が多く、売上には直接結びつかなかった。
		スナック（店長）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で来客数が少なくなっており、月末の支払いが難しくなっている。
		都市型ホテル（副支配人）	単価の動き	・客の予約数は多少増えているが、客単価は逆に減っている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・客の数が全体的に少なく、家に帰る時間が早くなっている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・ブロードバンド系の商品の販売が横ばいの状態である。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・宿泊は横ばいだが、ゴルフ場に関しては、雨が多く、晴れても暑過ぎる日が多かったため伸び悩んでいる。アミューズメント施設も今一歩というところだ。
		美容室（店長）	お客様の様子	・仕事がある店とない店の差が大きく、ない店は賃金カットされてもやむを得ない状態にある。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・分譲住宅の販売センターの来客数が今年度に入って横ばいであり、見込客数が少ない。
		住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・来客数は3か月前に比べて半減しているが、契約者数は横ばいである。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	単価の動き	・色々な催事を行っても、単価の高い商品があまり売れていない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップがあったため、特に日中の試合の場合は、その時間帯には買物客が全く来っていない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・老舗店が撤退したり、金融機関の支店が撤退するなど、来客数がさらに減少している。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	来客数の動き	・客単価も下がっているが、来客数が少ないことが一番頭の痛いところである。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・土日の来客数が減少している。おそらく学校も土曜日が休みになったため、家族連れで郊外へ行っている人が多いだろう。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・単品買いが多く、まとめ買いをする人がかなり少なくなっている。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・サッカーワールドカップの試合のある日は、始まる前は客が多いが、いざ始まると客足が途絶え、結局その日の売上全体の数字は通常より悪いという結果になっている。
		衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・バーゲンに対する問い合わせが減っている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・サッカーワールドカップの影響で、旅行需要そのものが低迷し、前年同月比マイナス10ポイントの売上ダウンである。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今まで定期的に利用していた客が全く利用しなくなっており、1時間に1～2本という走り方で困っている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		タクシー運転手	来客数の動き	・今月はサッカーワールドカップ一色で、試合の放送が始まると、街や店の中は客が減る状態であった。
		タクシー運転手	お客様の様子	・週初めは人が昼も夜も少なく、多いのは週末、金曜、土曜のみである。そのため、一週間を通すと客が減っている。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・依然として、リストラされた人達の就職先が決まっておらず、職業訓練等に行っているようだが、それでも再就職できないという状況が大変多く見受けられる。
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・底打ち感はあるが、建設投資についての意気込みはそこまで感じていない。
	悪くなっている	スーパー（店長）	来客数の動き	・当店はサッカーワールドカップの試合会場のすぐ近くにある。交通規制はしていないのに、ほとんどの客が交通規制をやっていると勘違いし、来客数が激減している。
		乗用車販売店（経営者）	競争相手の様子	・同業者及びオークションの相場等を見ても非常に悪い状況にある。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	来客数の動き	・今月はサッカーワールドカップのために客の引きが早く、来店客も少なくなっており、大きなマイナス要因になっている。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップが大分で開催されたが、我々の店にはかなり悪い影響が出た。当店だけでなく、周りの飲み屋街全体がそうであった。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップのテレビ中継があるせいだろうかは分からないが、夜の繁華街の人通りが大幅に減少しており、料亭組合員の方の話を聞いても、特に高い単価の客の来店がほとんどない状態にある。
		高級レストラン（専務）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響もあり、来客がさっぱり減った。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で、客は家でテレビを見るため店には全く出てきていない。サッカー不況である。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップを自宅で観戦する客が多かったようで、売上が営業を始めてから最悪の売上になっている。
		競輪場（職員）	来客数の動き	・6月はサッカーワールドカップがあったためか、競輪・競艇などの公営競技については来客数が激減しているうえ、ボーナス前ということで発売単価も減少している。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・サッカーワールドカップの影響で景気が沸いている企業もあるようだが、当業界のような末端までは届いていない。
企業動向関連	良くなっている			
	やや良くなっている	精密機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先からの新規案件が増えており、受注量も若干増えてきている。
	変わらない	一般機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・販売価格が下落しており、中国の脅威にいつも堪え忍んでいる。厳しい状況は変わっていない。
		建設業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・公共工事の落札価格が以前に比べて非常に厳しくなり、また、民間工事にもその傾向が見受けられ、競合してやっと受注に結びついている状態である。
		建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格の単価が下がっている。見積価格で4000万円位の物件の場合、その1割を切らなければ受注できない状況である。
		建設業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注額は上向いているが、価格競争が激しく、利益確保ができない状態である。
	やや悪くなっている	輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・半導体のみは良い状態が続いており、夏物衣料品、食料品、その他工業品はあまり動いていない。
		農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・スーパー関連の消費が特に伸びておらず、居酒屋関連の業務筋もあまり伸びず、売上の伸びは厳しい状況にある。
		金属製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・当社の状況や業界をみていると、販売量が減少しており、価格も低下している。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・半導体の大手メーカーが全国的に一服状態を呈しており、中だるみの様相が出てきている。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・6月前半は非常に悪く、仕事が少なくて休みを入れたりしていた。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪く なっている	経営コンサルティング	取引先の様子	・サッカーワールドカップの影響で、気分的には明るい話題が多かったが、取引先ではかなりマイナスの影響が出ている。
		農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・農産物の生産者価格は年初来、最安値となっている。
		繊維工業（営業）	取引先の様子	・取引先では、工場だけでなく問屋の倒産も増えている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量も落ち込んでいるが、価格競争も激しくなっている。また、商社の倒産で、一段と受注が厳しくなっている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・修繕の受注がほとんどない。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・荷動きが少ないうえ、取引先が自己破産してしまったため、在庫が少なくなり、事務職も現場職もほぼ定時に帰っている。
		不動産業（従業員）	取引先の様子	・業績の回復めどが立っていない取引先がみられる。
		経営コンサルティング	受注量や販売量の動き	・顧客の中には、あまりにも受注がなく、販売力が低下したため、支払い能力がなくなり、借金を返せなくなる状態に陥り、民事再生法を申請せざるを得ないところがある。
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良 くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・半導体の製造関係の求人が多少復活している。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・人材派遣の注文数は依然少なく、受注単価も低下傾向にある。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者は前年比増の傾向がずっと続いており、新規求人は若干上向きになってきているが、中味をよくみると、パートや業務請負派遣等の求人伸びであり、正社員の求人がなかなか出てこない。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・5月の求職者の動きをみると、新規求職者が前月より減少したものの、前年同月比では5.7%増となっている。特に、雇用保険受給者が前年同月比14.5%も増加しており、小規模零細企業の経営悪化が続いているものと思われる。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・昨年と同じ時期に比べると、求人数の動きが3割ほど落ち込んでいる。理由の1つとして、ベンチャー企業の採用見通しが暗くなったことがあげられる。
	やや悪 くなっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求人数は減少傾向にあるが、一方で有効求職者数は増加傾向にあり、有効求人倍率は2か月連続で低下している。
	悪く なっている	求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・この時期は例年、中元商戦を見込んだ食品製造の求人が活発になり、ここ数年はアウトソーシング企業の求人が活発であったが、今年は求人件数が減少している。アウトソーシング業界では、企業間競争が激化している。
学校〔専門学校〕（就職担当）		周辺企業の様子	・企業によっては、ベテランの社員を解雇し、給料の安い新人のみを正社員として採用している状況にある。	

### 11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	一般小売店〔輸入ブランド品〕（経理担当）	来客数の動き	・観光客の増加に伴い、来客数も増加している。
	やや良 くなっている	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・単価の低い状況は変わらないが、来客数は前年比105%となっており、売上高も対前年比を上回っている。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	販売量の動き	・サッカーワールドカップ効果で、それに関連した週刊誌、雑誌等の売上が上昇している。
		高級レストラン（副支配人）	来客数の動き	・大会やイベント等への団体客が増加し、来客数が増加している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・夏の観光シーズンを前に宿泊客の入込も前年並みになっており、3か月前に比べるとやや上昇している。会議、研修等への利用が増加しており、料飲部門、とくに宴会場の稼働率が上昇している。
	変わらない	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・飲料水等の販売量は増加しているが、来客数は増加していない。
		コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で、来客数が大幅に減少した。まとめ買いを期待したが、客単価に変化は見られない。
	やや悪くなっている	家電量販店(副店長)	単価の動き	・夏場に向けて季節商品が動き出してきているが、依然として平均単価が低下傾向にある。
		その他専門店[楽器](経営者)	お客様の様子	・3か月前に比べ、来客数はやや増加しているが、対前年比では、数字の落ち込みが歴然としている。
		旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・国内からの入込客及び沖縄から本土への旅行者数も好調だが、海外旅行は伸び悩んでいる。
		住宅販売会社(経営者)	来客数の動き	・価格の高い一戸建ての販売は不振の状況だが、マンションの販売額は増加している。
	住宅販売会社(従業員)	お客様の様子	・イベントを開催しても来客者は多いもののその後の契約につながらない。	
悪くなっている	コンビニ(経営者)	単価の動き	・3か月前に比べて客単価が5ポイント下落している。	
	その他飲食[居酒屋](経営者)	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響が大きく、サッカーの放映を店内でやった店舗では来客数が通常の約18%増加したが、テレビ等の設置ができなかった店舗では、約23%の減少となった。周辺店舗でも、急きょプロジェクターやTVを設置する店が増え、日本戦の時にはスポーツカフェでは行列ができていた。夕方からのいい試合は早めにかえって自宅で観戦というのが来店時間の動きから、多く感じられる。	
	商店街(代表者)	競争相手の様子	・厳しい中で様々な取り組みをおこなっている周辺部の大型店舗に対し、商店街の店は特に取り組みを行っていないため、状況は日々悪化している。	
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	通信業(従業員)	取引先の様子	・諦めかけていた案件が復活している。金額ではなく本当に客が求めるニーズをきちんと把握して最適なものを提案し続けた結果が表れた。
	変わらない	不動産業(支店長)	受注量や販売量の動き	・受注件数や成約件数が横ばいである。
	やや悪くなっている	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・住宅公庫の見なおし問題も含めて、客が住宅購入に関してますます慎重になっている。
		通信業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・新規プロジェクトを獲得できない。
悪くなっている	-	-	-	
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社(経営者)	求人数の動き	・新たな依頼が増えている。また周辺の企業をみても仕事が増えたとの声が聞かれる。
	変わらない			
	やや悪くなっている			
	悪くなっている	-	-	-